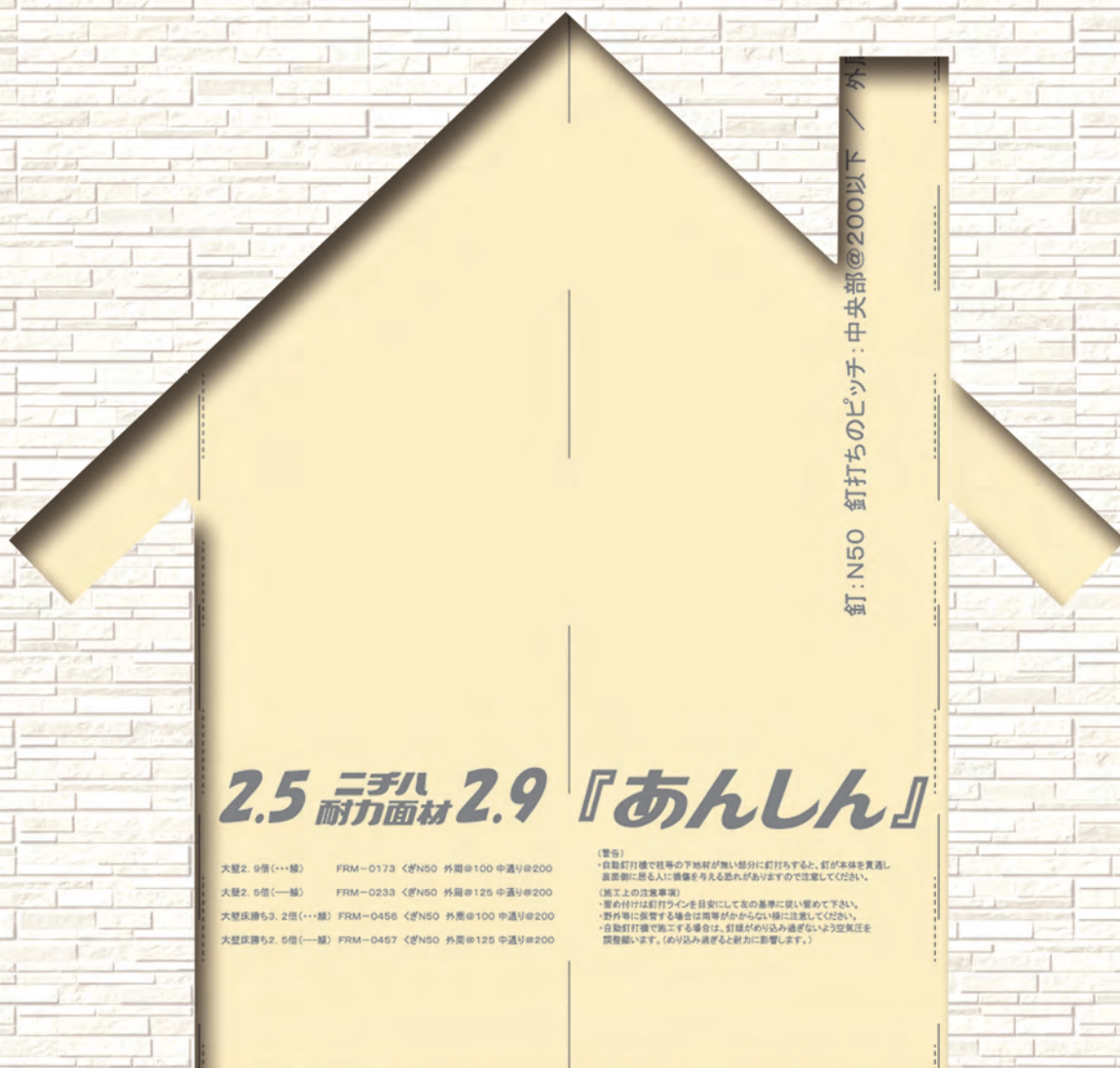


幅広い壁倍率&サイズバリエーションに対応!

# ニチハ耐力面材カタログ



## 2.5 ニチハ耐力面材 2.9 『あんしん』

大壁2.9倍(…壁) FRM-0173 <φN50 外周@100 中通り@200  
大壁2.6倍(…壁) FRM-0233 <φN50 外周@125 中通り@200  
大壁床脚5.3.2倍(…壁) FRM-0456 <φN50 外周@100 中通り@200  
大壁床脚5.2.2倍(…壁) FRM-0457 <φN50 外周@125 中通り@200

(警告)  
・自動釘打機で柱等の下地材が無い部分に釘打ちすると、釘が本体を貫通し  
裏面側に居る人に怪傷を与える恐れがありますので注意してください。  
(施工上の注意事項)  
・留め付けは釘打ラインを目印にして元の基準に正しい留めて下さい。  
・野同等に設置する場合は両等がかららない様に注意してください。  
・自動釘打機で施工する場合は、釘種がより込み過ぎないよう空気圧を  
調整します。(めり込み過ぎると耐力に影響します。)

新築 屋外用 ニチハ耐力面材『あんしん』

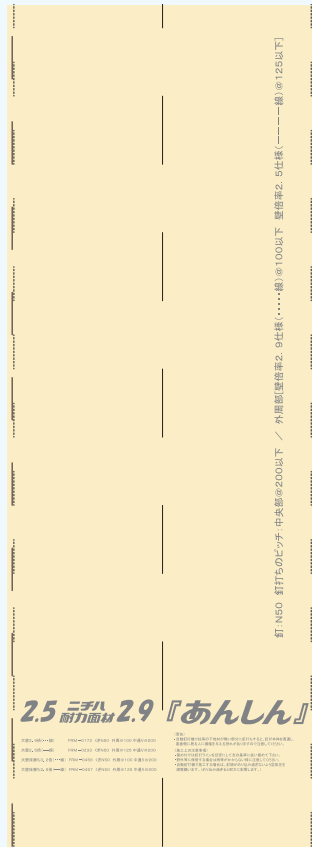
リフォーム 屋外用 ニチハ耐震改修面材『あんしん』かべ強化

# 新築やリフォーム、それぞれに対応した

新築

屋外用

## ニチハ耐力面材 『あんしん』

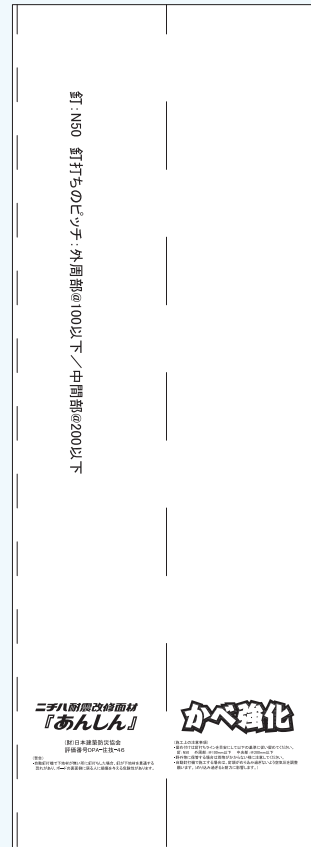


準不燃材料の無機質系耐力面材で地震や火災に強い！  
壁倍率2.5、2.9、4.4、5.0と幅広い壁倍率や床勝ち仕様に  
対応しています。

リフォーム

屋外用

## ニチハ耐震改修面材 『あんしん』かべ強化



「かべ強化」は、  
弊社が開催する  
設計施工技術者  
研修会を受講し  
た方による設計  
施工が必要にな  
り、材料のみの  
一般販売はして  
おりません。

住みながら無理なく耐震改修工事が可能！  
壁基準耐力7.9kN/mの高倍率での耐震補強を実現します。

### CONTENTS

■ 認定仕様一覧 ..... P. 3・4

新築 屋外用

#### ニチハ耐力面材『あんしん』

■ 商品特長

認定・物性一覧	P. 5
総合性能・耐火性	P. 6
耐震性	P. 7・8
耐久性	P. 9
透湿性	P.10
耐朽性・耐蟻性	P.11
耐衝撃性・環境性	P.12
施工性	P.13・14

■ 商品案内	P.15・16
■ 設計施工資料	P.17～56

リフォーム 屋外用

#### ニチハ耐震改修面材『あんしん』かべ強化

■ 商品特長

認定・物性一覧	P.57
総合性能	P.58
耐火性・耐震性	P.59
耐久性・透湿性・耐蟻性	P.60
リフォーム各種制度案内	P.61

■ 商品案内 ..... P.62

■ 設計施工資料 ..... P.63

ホームページ案内 ..... P.64

ショールーム・お客さま相談室案内 ..... P.65

営業所案内 ..... P.66



# 無機質系耐力面材『あんしん』シリーズ。

耐力面材『あんしん』『あんしん』かべ強化は、高い耐震性や幅広い壁倍率への対応など、様々な面から建物の『あんしん』を実現します。



1.幅広い壁倍率に対応



2.施工性を考えたサイズバリエーション



3.人と環境にやさしい建材

リサイクル原料/VOC規制対応/石綿不使用



4.建物を守る高い耐震性&防耐火性



5.壁内結露の発生を防ぐ優れた透湿性



6.建物の寿命を延ばす高い耐朽性&耐蟻性



7.住みながらの耐震補強が可能

ニチハ耐震改修面材『あんしん』かべ強化

## 本カタログの掲載マークのご説明



商品の厚みを表示しています。



釘打ち施工を標準とする商品に表示しています。



受注生産品です。納期その他は最寄りの弊社営業所にご確認ください。

## ご注意・お願い

### ■価格についてのご注意

本カタログに表示された標準価格と仕様は2023年9月現在のものです。

本カタログに表示された標準価格はメーカー希望小売価格で、工事費などは含まれておりません。

表示価格は税抜価格です。税込価格は、消費税率に合わせて計算をお願いいたします。

### ■お願い

本カタログ掲載商品は、印刷物のため実物の色柄と異なる場合がございます。

本カタログ掲載商品は、改良のため仕様の一部を予告なく変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

施工は専門施工が必要ですので、販売店・専門施工店にご確認ください。

詳細につきましては、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

## 認定仕様一覧

新築 屋外用

二重耐力面材『あんしん』

		大壁仕様 壁倍率2.5	大壁仕様 壁倍率2.9	大壁仕様 壁倍率4.4	大壁仕様 壁倍率5.0
認定番号		FRM-0233	FRM-0173	FRM-0458	FRM-0425
軸組仕様	柱、土台、梁、 胴差および桁	105×105以上	105×105以上	105×105以上	105×105以上
	間柱(幅×奥行き)	30×60以上	30×60以上	30×105以上	30×105以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60以上	45×60以上	—	—
	柱の間隔	—	—	910	910
	柱と間柱の間隔	500以下	500以下	455	455
	継手間柱と間柱の間隔	500以下	500以下	—	—
	上部横架材と 下部横架材の内法寸法	—	—	2,315以上 2,880以下	2,315以上 2,925以下
当該耐力壁に 使用できる『あんしん』  ■商品案内 P.15,16		厚さ9	厚さ9	厚さ9	厚さ9
		DL9F1	DL9F1	DL9V1K	DL9F1
		DL9F1K	DL9F1K	DL9V2K	DL9F1K
		DL9F2	DL9F2		DL9F2
		DL9F2K	DL9F2K		DL9F2K
		DM9F1	DM9F1		
		DM9F2	DM9F2		
	DA9Y				
	DB9Y				
留め付け仕様	くぎ	N50	N50	N65 またはNZ65	N65またはNZ65 及びめっき鋼板 (品番: FA4000)
	間隔(外周部)	125以下	100以下	75以下	75以下
	間隔(中通り部)	200以下	200以下	200以下	200以下
	縁端距離	15程度	15程度	25±3	15±3
	面材のかかり代	—	—	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上	

※大壁仕様 壁倍率2.5は、壁の高さ方向に継手(胴つなぎ45×45以上)を設けることができます。  
※各大臣認定別添を必ずご確認ください。



単位：mm

	大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (3尺幅限定)	大壁床勝ち仕様 壁倍率3.2 (3尺幅限定)	大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (メートル幅限定)	大壁床勝ち仕様 壁倍率2.8 (メートル幅限定)
	FRM-0457	FRM-0456	FRM-0497	FRM-0496
	105×105以上	105×105以上	105×105以上	105×105以上
	27×60以上	27×60以上	27×60以上	27×60以上
	45×60以上	45×60以上	45×60以上	45×60以上
	—	—	—	—
	455	455	500	500
	455	455	500	500
	2,315以上 2,925以下	2,620以上 2,925以下	2,315以上 2,925以下	2,315以上 2,925以下
	厚さ9	厚さ9	厚さ9	厚さ9
	DL9F1 DL9F1K DL9F2 DL9F2K	DL9F1 DL9F1K DL9F2 DL9F2K	DM9F1 DM9F2	DM9F1 DM9F2
	N50またはNZ50	N50またはNZ50	N50またはNZ50	N50またはNZ50
	125以下	100以下	125以下	100以下
	200以下	200以下	200以下	200以下
	15±3	15±3	15±3	15±3
	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上、受材に38mm以上、継手間柱に20mm以上			

新 築

屋外用

# ニチハ耐力面材『あんしん』

## 『あんしん』各種認定

国土交通大臣認定

### 耐力壁認定

仕 様	壁 倍 率	認 定 番 号
大壁仕様 / 木造軸組耐力壁	2.5	FRM-0233
	2.9	FRM-0173
	4.4	FRM-0458
	5.0	FRM-0425
大壁床勝ち仕様(3尺幅限定) / 木造軸組耐力壁	2.5	FRM-0457
	3.2	FRM-0456
大壁床勝ち仕様(メートル幅限定) / 木造軸組耐力壁	2.5	FRM-0497
	2.8	FRM-0496

### 材料認定

認 定	仕 様	認 定 番 号
準不燃材料	両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板	QM-0457

### 内装無し防火構造認定

認 定	仕 様 ・ 構 成		認 定 番 号
	外 壁 側	断 熱 材	
外壁防火構造	窯業系サイディング15mm厚以上 横張り 金具工法 (通気金具工法を含む)	人造鉱物繊維断熱材 ①または②(下記以外の断熱材は 適用不可) ①グラスウール(JIS A 9521) 厚さ50mm以上、密度16kg/m <sup>3</sup> 以上 ②ロックウール(JIS A 9521) 厚さ50mm以上、密度40kg/m <sup>3</sup> 以上	PC030BE-1061
	窯業系サイディング全般、 くぎ留め施工限定 (横張りも縦張りも可能)		PC030BE-0911

※大壁仕様 壁倍率4.4および壁倍率5.0には適用できません。  
 ※壁の高さ方向に継手を設ける(胴つなぎを使用する)場合には適用できません。  
 ※木造軸組限定。枠組壁工法には適用できません。

### 物性一覧表

項 目	『あんしん』	備 考
厚さ(mm)	9	—
比重(絶乾)	0.92	平均値
含水率(%)	7.0(±6.0)	自社測定法
耐透水性(mm)	減水高さ10以下	JIS A 5422に準じる
曲げ破壊荷重(N)	600以上	JIS A 5422に準じる
熱伝導率(W/(m·K))	0.17	JIS A 1412
熱抵抗値(m <sup>2</sup> ·K/W)	0.05	—
透湿抵抗(m <sup>2</sup> ·h·mmHg/g)	8.04	JIS A 1324
透湿抵抗(m <sup>2</sup> ·s·Pa/ng)	3.86×10 <sup>-3</sup>	JIS A 1324

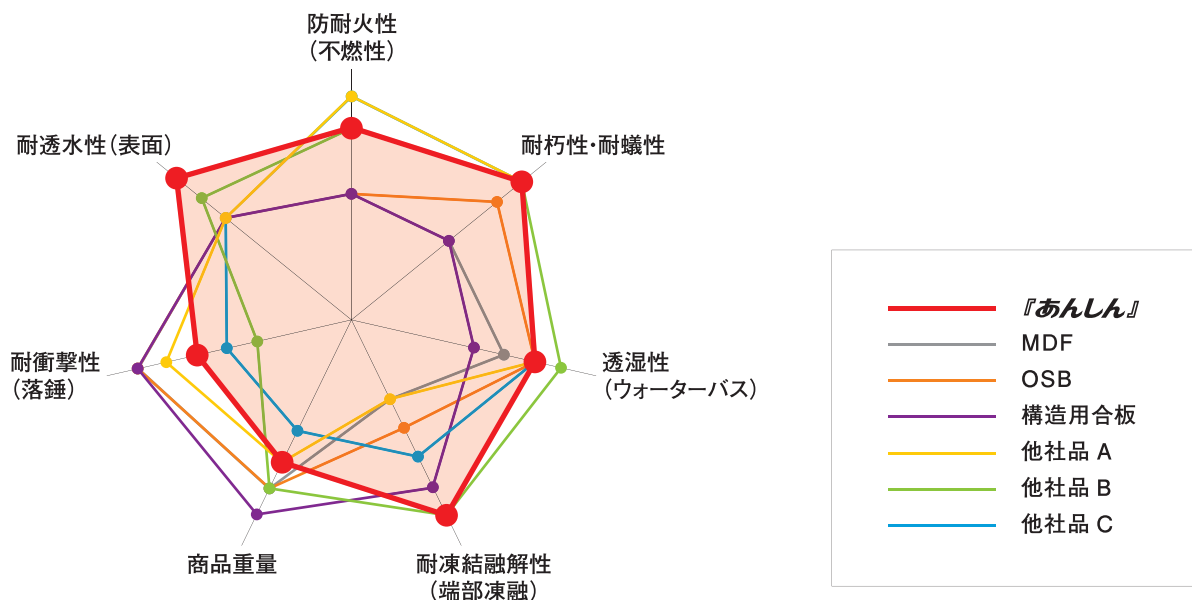
壁倍率の国土交通大臣認定を取得している、確かな『あんしん』があります。



1

# 総合性能

『あんしん』は、各種性能面でバランスが良く総合性能に優れた材料です。



2

# 防耐火性

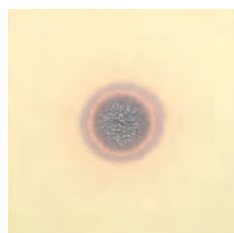
『あんしん』は、準不燃材料認定を取得。万が一の火災時にも『あんしん』です。

国土交通大臣認定準不燃材料 QM-0457 (両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板)

## 燃焼実験



試験風景



『あんしん』



MDF



OSB



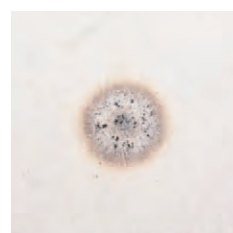
構造用合板



他社品A



他社品B



他社品C

耐力面材には構造用合板やOSBなど木質系のものがあります。これらと比較して、『あんしん』は準不燃材料ですので、万が一の火災時に『あんしん』使用部分で屋内へ火災が達する時間を延ばすことができます。

# 3

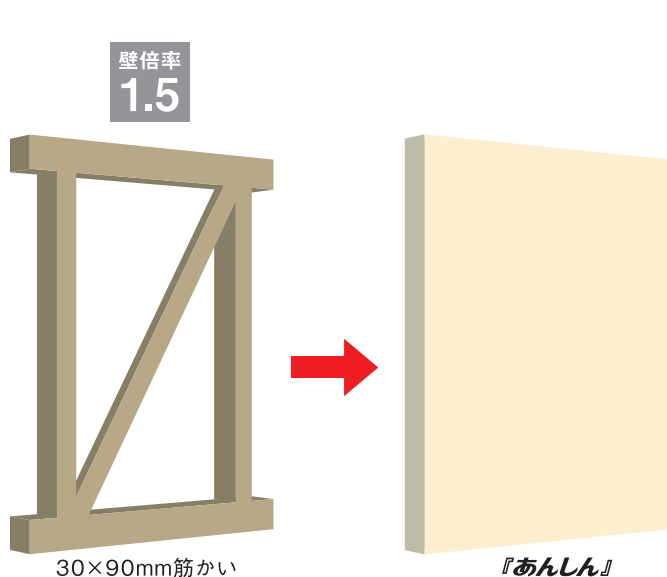
## 耐震性

『あんしん』は、高い壁倍率で地震や台風時の外力から建物を守ります。

『あんしん』は、大壁仕様で壁倍率 **2.5、2.9、4.4、5.0**、床勝ち仕様(3尺幅限定)で壁倍率 **2.5、3.2**、床勝ち仕様(メートル幅限定)で壁倍率 **2.5、2.8**を取得しました。

仕様	壁倍率	認定番号
大壁仕様／木造軸組耐力壁	2.5	FMR-0233
	2.9	FMR-0173
	4.4	FMR-0458
	5.0	FMR-0425

仕様	壁倍率	認定番号
大壁床勝ち仕様(3尺幅限定)／木造軸組耐力壁	2.5	FMR-0457
	3.2	FMR-0456
大壁床勝ち仕様(メートル幅限定)／木造軸組耐力壁	2.5	FMR-0497
	2.8	FMR-0496

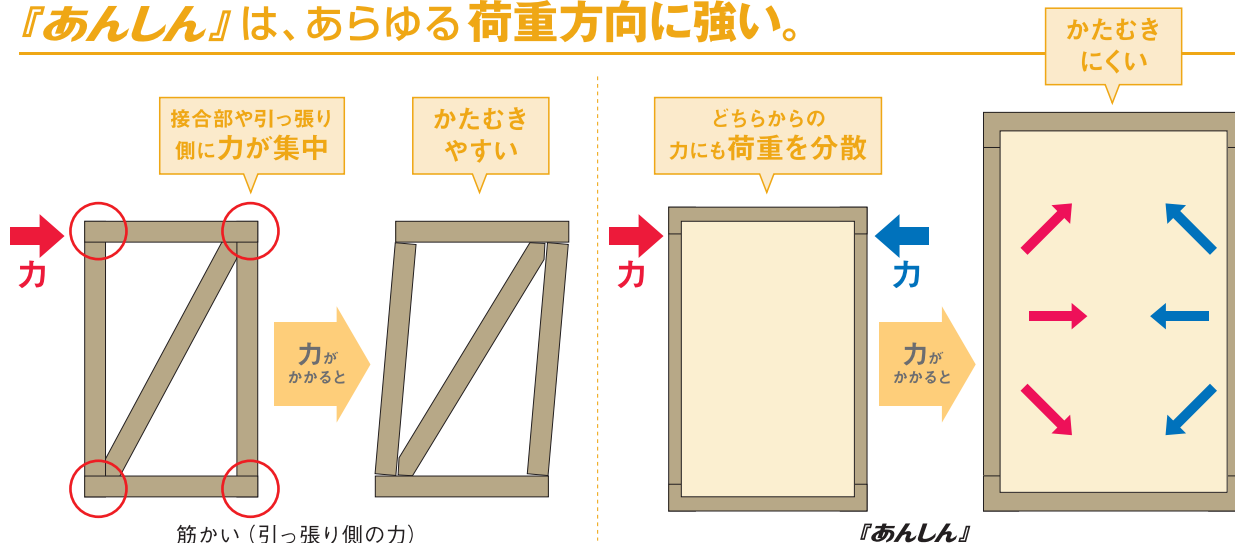


大壁仕様		大壁床勝ち仕様(3尺幅)	
壁倍率 <b>2.5</b>	壁倍率 <b>2.9</b>	壁倍率 <b>2.5</b>	壁倍率 <b>3.2</b>
壁倍率 <b>4.4</b>	壁倍率 <b>5.0</b> ※1	大壁床勝ち仕様(メートル幅)	
		壁倍率 <b>2.5</b>	壁倍率 <b>2.8</b>

壁倍率の数値が高いと、同じ壁面積で耐え得る力が強いことになります。同じ間取りプランならば、30×90mmの片筋かいを使用した建物よりも、地震や台風に余裕を持って備えられます。また、壁倍率の数値が高いことにより、壁の面積を少なくすることが可能になり、窓を広くとるなど間取りプランの自由度が増します。

※1 壁倍率5.0は鋼板取り付け仕様です。

『あんしん』は、あらゆる荷重方向に強い。

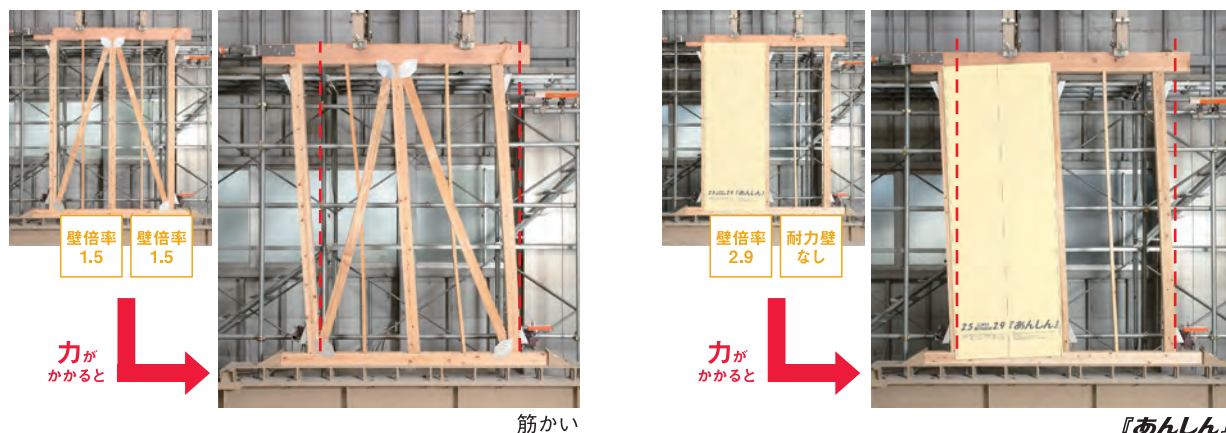


建物には様々な荷重や外力がかかります。そこで、地震や台風時の水平荷重に対して抵抗するのは「耐力壁」です。従来、耐力壁には筋かいが用いられてきましたが、接合部に力が集中することや引っ張り側の力に対して抵抗力が低下する欠点があります。一方、『あんしん』はどちらからの力が加わっても荷重を分散させるので安心です。



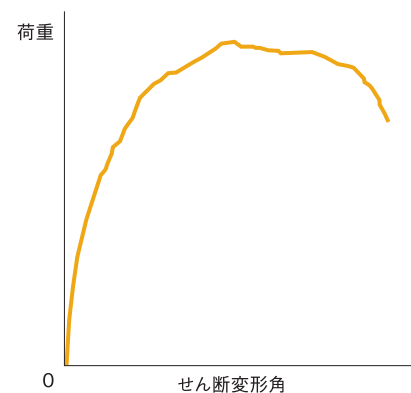
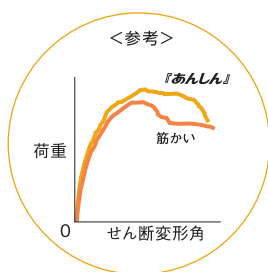
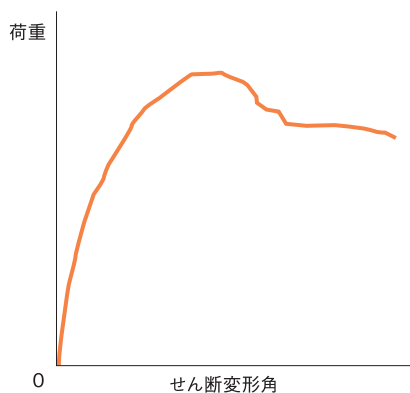
面内せん断試験 一筋かいと『あんしん』の比較

『あんしん』は、一枚で筋かい二本以上の耐力があります。



試験荷重・変位推移グラフ/筋かい

試験荷重・変位推移グラフ/『あんしん』



新耐震基準のポイント

震災の教訓により改正

S53 宮城沖地震

耐震性

H7 阪神淡路大震災

S56 新耐震基準導入

- 面材を張った壁などを耐力壁に追加
- 床面積あたりの必要壁長さや、軸組の種類・倍率を改定

H12 建築基準法改正

- 耐力壁の配置バランスの規定
- 継手・仕口の規定

H18 建築基準法改正  
改正耐震改修  
促進法施行

- 建築確認・検査の厳格化
- 耐震診断・耐震改修の促進

昭和56年に建築基準法施行令の大改正がおこなわれました。この耐震基準を「新耐震基準」と称し、それ以前の基準と区別しています。大震災時には、この「新耐震基準」で建築されていない昭和56年以前の木造建築物に被害が大きかったことが明らかになっています。木造建築物の耐震性強化には耐力壁の性能アップが重要になります。

# 4

## 耐久性

『あんしん』は、建物を長持ちさせる耐久性が魅力です。

耐力面材は、長期間荷重に耐えなければならず耐久性が必要です。耐久性は耐凍結融解試験、耐透水性能(表面)試験によって表すことができます。『あんしん』は耐凍結融解試験10サイクルで基材に異常はありません。『あんしん』の透水性能は構造用合板より優れており、室内で発生した湿気を外壁側へ流出させることにより躯体の劣化や壁体内結露を防ぎます。また、二チハ外壁材モエンを用いた外壁通気構法は湿った空気を屋外へ排出することができます。さらに、『あんしん』は施工時の雨濡れや水分による商品の劣化を抑えるため、表面に特殊防水処理をおこなっています。透水性能と耐透水性能(表面)のバランスが、躯体の劣化、壁体内結露防止と商品劣化防止を両立しています。

### 耐凍結融解試験

■試験方法：各種耐力面材の小口より吸水をさせ凍結と融解を10回繰り返す。



### 耐透水性能(表面) (下の写真は試験2時間後の状態です)

■試験方法：各種耐力面材の表面からの透水量を比較。

試験前

『あんしん』

MDF

OSB

構造用合板

他社品A

他社品B

他社品C

材料名		『あんしん』	MDF	OSB	構造用合板	他社品A	他社品B	他社品C
透水量 (ml)	経過時間 15分	0.18	5以上	5以上	5以上	5以上	0.69	5以上
	120分	1.09	5以上	5以上	5以上	5以上	1.78	5以上

※数値は各4体の平均値。但し、1体でも5ml以上となった場合は、5ml以上と表記している。

『あんしん』は他社品に比べ、透水量が少ないことがわかります。施工時の雨濡れなどに対し優位性があります。

5

# 透湿性

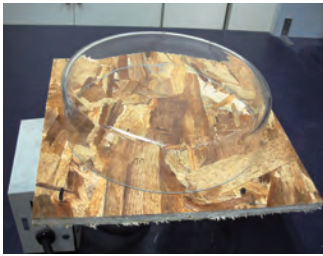
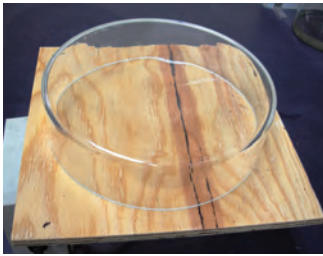
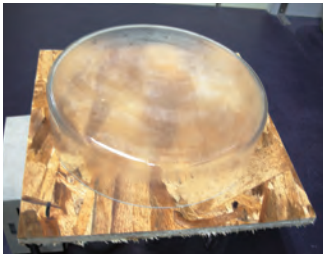

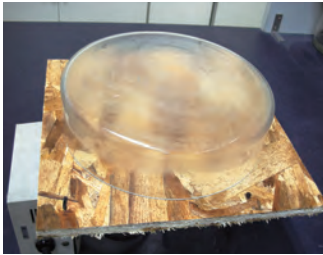

『あんしん』は、優れた透湿性で壁内結露の発生を防ぎます。

## 透湿性試験(ウォーターバス)

■ 試験方法：水温90℃以上にしたウォーターバスの上に試片を置き、さらにその上にガラス容器をのせて、10分間の結露状態を比較。

■ 試験板サイズ：220×220mm

■ 試験板の種類：『あんしん』 / OSB / 構造用合板

材料名	『あんしん』	OSB	構造用合板
経過時間	0分		
	5分		
	10分		

材料名	『あんしん』	OSB	構造用合板
くもり始め	2.0分	3.0分	4.0分
水滴の確認	4.0分	10分経過しても未確認	10分経過しても未確認

壁の内部に発生する結露は、土台や柱、壁などを腐らせかねない建物の大敵です。しかし、湿気をよく通す耐力面材を使えば、この結露による腐食を防ぐことができます。『あんしん』は、壁の内部の湿気をスムーズに放出し、結露の発生を最少限に抑えます。

『あんしん』の透湿性は構造用合板より優れており、湿気をよく通します。



# 6

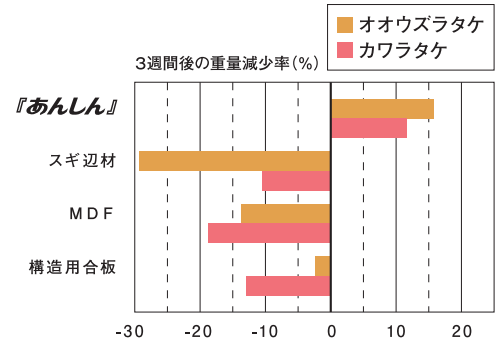
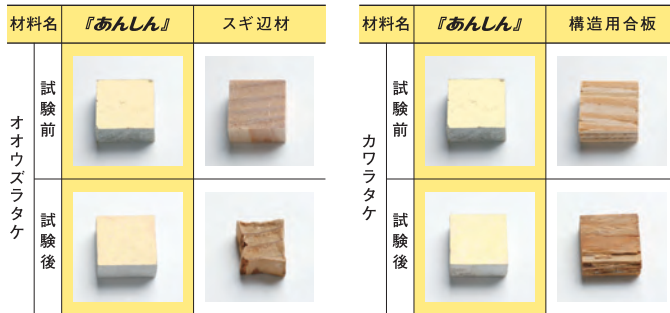
## 耐朽性

『あんしん』は、高い耐朽性で建物を長持ちさせます。

### 耐朽性試験

■ 試験方法：耐朽性試験は、JIS K-1571(2004)「木材保存剤の性能試験」に準じて、3週間後の供試体の重量減少率を評価。重量減少が小さいほど、耐朽性が高い。

■ 試験板の種類：『あんしん』／ スギ辺材 ／ MDF ／ 構造用合板



長い年月を経過した建物は老朽化が進み、その耐久性は徐々に低下していきます。高い耐朽性を誇る『あんしん』を使用すれば、長期間にわたって建物を守ることができます。

『あんしん』は重量減少がなく、優れた耐朽性を備えています。

# 7

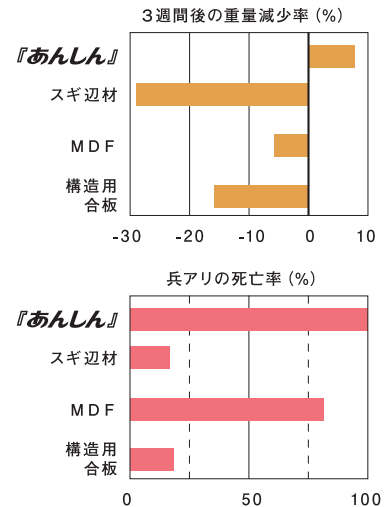
## 耐蟻性

『あんしん』は、優れた耐蟻性でシロアリの侵入を防ぎます。

### 耐蟻性試験

■ 試験方法：耐蟻性試験は、JIS K-1571(2004)「木材保存剤の性能試験」に準じて、3週間後の供試体の重量減少率、兵アリの死亡率、目視による評価。兵アリの死亡率が高いほど、耐蟻性が高い。

■ 試験板の種類：『あんしん』／ スギ辺材 ／ MDF ／ 構造用合板



木材やプラスチックだけでなく、ときにはコンクリートや金属まで食害し、建物に大きな被害を与えるシロアリ。『あんしん』なら、シロアリが発生しにくい環境をつくり、その侵入を未然にシャットアウトすることができ、重量減少や食害がほとんどありません。

『あんしん』は兵アリの死亡率が高く、食害もほとんど認められません。

## 8

## 耐衝撃性

『あんしん』は、強い衝撃から建物を守ります。

## 耐衝撃性試験(落錘)

■ 試験方法：1kgのおもりを、試片が完全に亀裂するか、顕著に陥没するまで1,100mmの高さから落下させ、その落下回数で耐衝撃性を評価。

■ 試験板サイズ：400×500mm

■ 試験板の種類：『あんしん』 / 他社品A / 他社品B / 他社品C



落錘試験風景

材料名	『あんしん』	他社品A	他社品B	他社品C
試験前				
試験後	 裏面	 裏面		

材料名	『あんしん』	他社品A	他社品B	他社品C
落下回数	6回	10回	2回	3回
破壊状況	陥没	陥没	完全に破断	完全に破断

地震や台風などの天災が起こると、建物に予測できない負荷が掛かることもあります。たとえば、突風で飛ばされたガラスや家財が外壁に衝突したり、ブロック塀が倒れ掛かるなどの被害も起こりかねません。そんなとき、高い衝撃性を持つ『あんしん』なら、局部的に起こる大きな衝撃からも建物を守ることができます。

『あんしん』は、亀裂・破断の発生を抑えます。

## 9

## 環境性

『あんしん』は、石綿不使用だから施工される方や住まわれる方に『あんしん』です。

『あんしん』はホルムアルデヒド発散建築材料に含まれていないので規制の対象外となり、制限無く使用できます。

『あんしん』はクロルピリホスや石綿を添加していないので安心して使用できます。

他のVOC(トルエン、キシレンなど)についても問題はありません。より詳しくお知りになりたい方は、最寄りの弊社営業所にご連絡頂き、SDS(安全データシート)をお取り寄せご確認ください。

# 10

## 施工性

『あんしん』は、施工のしやすさも魅力です。

### 『あんしん』は、施工がスムーズ。



特殊な工具を用いずに切断できます。



鉄丸くぎを使用して施工してください。



くぎ頭がめりこまないように施工してください。



防水紙張りがスムーズにできます。



### 必要な工具

- 木工用ののこぎりや集じん丸ノコで切断できます。集じん丸ノコ使用時は集じん機の使用をお勧めします。
- くぎ打ちは、エアネイラ・金づちのどちらでも作業できます。
- 防水紙の施工は、ステーブルなどをご使用ください。

#### 推奨工具マックス(株)製

くぎ	くぎ打ち機	ステーブル	対応機
FC50V8(N50) FCP50V8(N50) FC65W1(N65)	常圧コイルネイラ CN-565CG 常圧コイルネイラ CN-665S2 高圧コイルネイラ HN-50N4(D) 高圧コイルネイラ HN-65N4(D)	T3-6M (肩幅 12mm、足長さ 6mm)	TH-V2(ハンマタッカ) TG-Z4(充電タッカ)

### 『あんしん』適用くぎについて

『あんしん』の施工には必ず鉄丸くぎ(JIS A 5508に仕様が規定されている)を使用してください。

以下のようなくぎは異なりますのでご注意ください。

- × FNくぎ：梱包用のもので、鉄丸くぎよりもくぎの径やくぎ頭の径がひとまわり小さくなっていて、引っ張り耐力・せん断耐力共に劣ります。
- × 太め鉄丸くぎ：通称「CNくぎ」と呼ばれるもので、主として2×4工法に用いられるもので、鉄丸くぎよりも線径が太くなっています。





## 軸組仕様と留め付け仕様

## 大壁仕様 壁倍率2.5

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅30×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上
胴つなぎ	45×45mm以上

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50
間隔	外周部125mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm程度（くぎ打ちラインを目安）

## 大壁仕様 壁倍率4.4※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅30×奥行き105mm以上
柱の間隔	910mm（芯々寸法）
柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
間柱の取り付け	上部は大入れの上くぎN75を2本斜め打ちまたはほぞ差しとし、下部は突き付けまたは大入れの上くぎN75を2本斜め打ち
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315mm以上2,880mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N65またはNZ65
間隔	外周部75mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	25mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上

## 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5（3尺幅限定）※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅27×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上
柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
継手間柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315mm以上2,925mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50またはNZ50
間隔	外周部125mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上、受材に38mm以上、継手間柱に20mm以上

## 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5（メートル幅限定）※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅27×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上
柱と間柱の間隔	500mm（芯々寸法）
継手間柱と間柱の間隔	500mm（芯々寸法）
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315mm以上2,925mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50またはNZ50
間隔	外周部125mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上、受材に38mm以上、継手間柱に20mm以上

## 大壁仕様 壁倍率2.9※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅30×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50
間隔	外周部100mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm程度（くぎ打ちラインを目安）

## 大壁仕様 壁倍率5.0鋼板取り付け仕様※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅30×奥行き105mm以上
柱の間隔	910mm（芯々寸法）
柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
間柱の取り付け	上部は大入れの上くぎN75を2本斜め打ち、またはほぞ差しとし、下部は突き付けまたは大入れとし、くぎN75を2本斜め打ち
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315mm以上2,925mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N65またはNZ65
その他	めっき鋼板（品番：FA4000）
間隔	外周部75mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上

## 大壁床勝ち仕様 壁倍率3.2（3尺幅限定）※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅27×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上
柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
継手間柱と間柱の間隔	455mm（芯々寸法）
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315mm以上2,925mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50またはNZ50
間隔	外周部100mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上、受材に38mm以上、継手間柱に20mm以上

## 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.8（メートル幅限定）※

## ■ 軸組仕様

柱、土台、梁、胴差および桁	105×105mm以上
間柱	見付幅27×奥行き60mm以上
継手間柱	見付幅45×奥行き60mm以上
柱と間柱の間隔	500mm（芯々寸法）
継手間柱と間柱の間隔	500mm（芯々寸法）
上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,620mm以上2,925mm以下

## ■ 留め付け仕様

くぎ	N50またはNZ50
間隔	外周部100mm以下、中通り部200mm以下
縁端距離	15mm（±3mm）
面材のかかり代	柱、梁、胴差及び桁に50mm以上、受材に38mm以上、継手間柱に20mm以上

※壁の高さ方向に継手を設けないでください。（継手を設けると耐力壁になりません。）

## 大壁仕様 壁倍率2.5、2.9共用 / 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5、3.2共用



幅910mm品の大壁床勝ち仕様 壁倍率**2.5、3.2**。  
床勝ち仕様は根太レス床など、床板先行施工に対応。

- 大壁仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0233(壁倍率2.5)、FRM-0173(壁倍率2.9)
- 大壁床勝ち仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0457(壁倍率2.5)、FRM-0456(壁倍率3.2)

当該耐力壁に使用できる耐力面材

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457

両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板

マークの説明  
▶ P.2



品番	DL9F1	DL9F1K	DL9F2・DL9F2K
壁倍率	(大壁)2.5、2.9 (床勝ち)2.5、3.2共用仕様		
寸法	9×910×3030mm		9×910×2730mm
重量	約24.0kg/枚	約23.0kg/枚	約21.0kg/枚
標準価格 (税抜)	5,800円/枚 (2,104円/㎡)		5,200円/枚 (2,093円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装		
梱包	40枚パレット積み		

※ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

## 大壁仕様 壁倍率2.5、2.9共用 / 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5、2.8共用



幅1000mm品の大壁床勝ち仕様 壁倍率**2.5、2.8**。  
床勝ち仕様は根太レス床など、床板先行施工に対応。

- 大壁仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0233(壁倍率2.5)、FRM-0173(壁倍率2.9)
- 大壁床勝ち仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0497(壁倍率2.5)、FRM-0496(壁倍率2.8)

当該耐力壁に使用できる耐力面材

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457

両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板

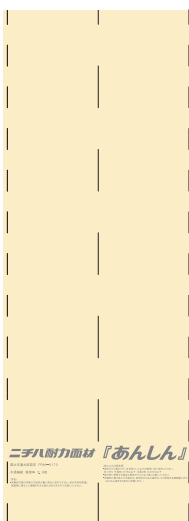
マークの説明  
▶ P.2



品番	DM9F1	DM9F2
壁倍率	(大壁)2.5、2.9 (床勝ち)2.5、2.8共用仕様	
寸法	9×1000×3030mm	9×1000×2730mm
重量	約25.0kg/枚	約23.0kg/枚
標準価格 (税抜)	6,600円/枚 (2,178円/㎡)	5,900円/枚 (2,161円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装	
梱包	40枚パレット積み	

※ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

## 大壁仕様 壁倍率2.9



幅950mm品・幅960mm品をラインナップした、大壁仕様 壁倍率**2.9**。

- 大壁仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0173(壁倍率2.9)

当該耐力壁に使用できる耐力面材

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457

両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板

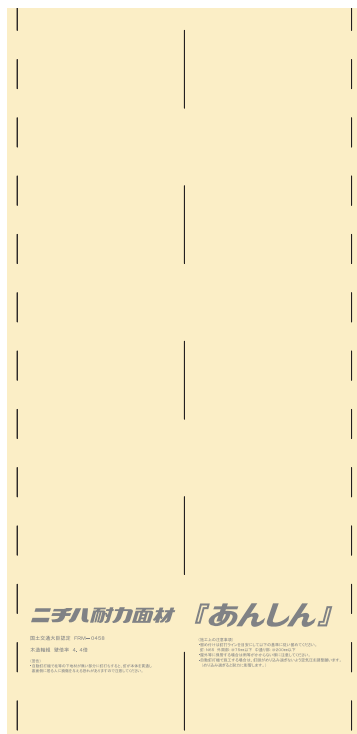
マークの説明  
▶ P.2



品番	DA9Y  【一般地域限定】	DB9Y  【一般地域限定】
壁倍率	(大壁)2.9仕様	
寸法	9×960×3030mm	9×950×3030mm
重量	約24.0kg/枚	約24.0kg/枚
標準価格 (税抜)	6,100円/枚 (2,097円/㎡)	6,100円/枚 (2,119円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装	
梱包	40枚パレット積み	

※ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

## 大壁仕様 壁倍率4.4



大壁仕様 壁倍率**4.4**に対応した無機質系耐力面材『あんしん』。

### ■大壁仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0458(壁倍率4.4)

当該耐力壁に使用できる耐力面材

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457

両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板

マークの説明  
▶P.2



品番	DL9V1K	DL9V2K
壁倍率	(大壁)4.4仕様	
寸法	9×910×3030mm	9×910×2730mm
重量	約23.0kg/枚	約21.0kg/枚
標準価格 (税抜)	5,800円/枚 (2,104円/㎡)	5,200円/枚 (2,093円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装	
梱包	40枚パレット積み	

※ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

## 大壁仕様 壁倍率5.0(外周部めっき鋼板取り付け耐力壁)



耐力面材『あんしん』の外周部にめっき鋼板を取り付けることで、高い壁倍率**5.0**を実現。

### ■大壁仕様 / 木造軸組耐力壁 FRM-0425(壁倍率5.0)

当該耐力壁に使用できる耐力面材

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457

両面アクリル系樹脂塗装 / パルプ・けい酸質混入セメント板

マークの説明  
▶P.2



品番	DL9F1	DL9F1K	DL9F2・DL9F2K
壁倍率	(大壁)5.0仕様		
寸法	9×910×3030mm		9×910×2730mm
重量	約24.0kg/枚	約23.0kg/枚	約21.0kg/枚
標準価格 (税抜)	5,800円/枚 (2,104円/㎡)		5,200円/枚 (2,093円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装		
梱包	40枚パレット積み		

※ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

### ■外周部めっき鋼板

品番	FA4000
寸法	0.35×30×855mm
標準価格 (税抜)	4,100円/捆
材質	塗装高耐食GLめっき鋼板(ブラウン色)
梱包	10本/捆
備考	75mm間隔にくぎ打ち位置マーク 『あんしん』を軸組材に留め付ける前に平置きの状態では粘着テープを用いて仮留め

### 特 長

- 1 壁量計算最高倍率である5.0を取得
- 2 耐震性が向上することにより設計自由度も向上
- 3 面材は耐力面材『あんしん』壁倍率2.5、2.9と共通

・誌面に掲載の価格はメーカー希望小売価格です。消費税・工事費・運賃などは含まれておりません。



# 二手ハ耐力面材『あんしん』

## 設計施工資料

### ■ 共通

- ・ 加工、防水紙・外壁材の施工、  
保管、取り扱い ..... P.18

### ■ 大壁仕様 / 木造軸組耐力壁

- ・ 壁倍率 2.5 ..... P.19
- ・ 壁倍率 2.9 ..... P.25
- ・ 壁倍率 2.5/2.9 共通 ..... P.30
- ・ 壁倍率 4.4 ..... P.33
- ・ 壁倍率 5.0 ..... P.37

### ■ 大壁床勝ち仕様 / 木造軸組耐力壁

- ・ 壁倍率 2.5(3尺幅限定) ..... P.41
- ・ 壁倍率 3.2(3尺幅限定) ..... P.45
- ・ 壁倍率 2.5(メータ一幅限定) ..... P.49
- ・ 壁倍率 2.8(メータ一幅限定) ..... P.53



## 『あんしん』の加工

- 『あんしん』は、集じん丸ノコ、手ノコで切断してください。集じん丸ノコを使用する場合は、集じん機を使用してください。

## 防水紙・外壁材の施工

- 『あんしん』が濡れた場合は、よく乾かしてから防水紙を施工します。
- 『あんしん』の施工後、ステーブル等を用い、すみやかに防水紙を施工してください。
- ステーブルは、「商品名：T3-6M」肩幅 12mm 足長さ 6mm(マックス株)の使用をお勧めします。

「T3-6M」の適合タッカ(マックス株)

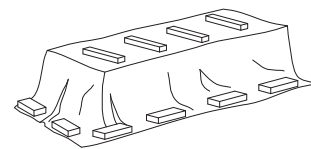
充電式タッカ TG-Z4
ハンマタッカ TH-V2

- 『あんしん』にはくぎ保持力、ねじ保持力を期待できません。胴縁等を取り付ける場合には、『あんしん』だけでは取り付けず、『あんしん』を介して軸組に取り付けてください。
- 外壁材にモエンサイディングを使用する場合は、以下を参考にして、標準施工に従ってください。

横張り金具施工	○標準施工
横張り通気金具施工	○標準施工
縦張り(5mm)金具施工	○標準施工
縦張り通気金具施工	×
くぎ打ち施工	○標準施工

## 保管上の注意

- 屋内の硬く平らな場所に保管し、傷、汚れを防ぐため、最上段の『あんしん』は裏返してください。
- 直接床に置かないで、パレットまたは敷板(台木間隔 500mm 以下)の上に水平に積み重ねてください。直接、台木の上に積まないでください。(波反りするおそれがあります。)
- やむを得ず屋外に保管する場合は、防水シートを掛けて雨に濡れないようにしてください。



## 取り扱い上の注意

- 取り扱い時は、軍手等の保護手袋を着用してください。
- 切断する際は、保護メガネ、集じんマスク等の保護具を着用してください。
- 作業後は粉じんを払い落とし、手洗い、うがいを励行してください。

# 大壁仕様 壁倍率2.5

単位：mm

認定番号		FRM-0233
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500 以下
	継手間柱と間柱の間隔	500 以下
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	-
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15 程度
	面材のかかり代	-

※大壁仕様 壁倍率2.5は、壁の高さ方向に継手(胴つなぎ45×45以上)を設けることができます。

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

新  
築

屋  
外  
用

『あんしん』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(2.5尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(2.5尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(2.5尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(2.5尺間隔)

大壁勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(2.5尺間隔)

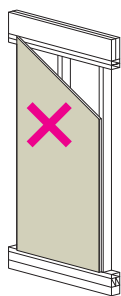
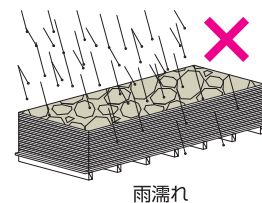
20

## 適用範囲

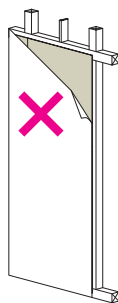
- 建築基準法施行令第 40 条～第 49 条(ただし、第 48 条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5 を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

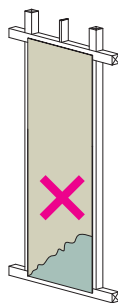
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



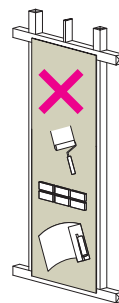
枠組壁工法



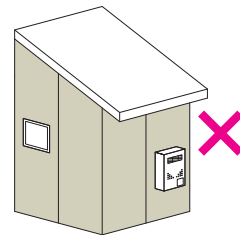
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の取り付けには、**鉄丸くぎ N50(JIS A 5508:2005)**を用いてください。
- 『あんしん』の表面には、くぎの種類、くぎ間隔及びくぎ打ち線が印字されています。
- 『あんしん』は防水紙等で有効に防水されている部分に使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。直径 100 ~ 150mm 程度の貫通孔、300mm 角以下の換気扇用の孔<sup>※2</sup>は、一般には、開口に該当しないとされていますが、判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。  
※2 孔の周囲に継手間柱と同じ断面寸法の木材を組み、N50 を用いて、孔の周囲 @125mm 以下で打ち付けた場合。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

# ニチハ耐力面材『あんしん』

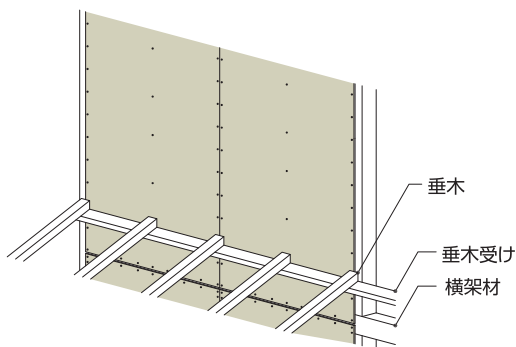
大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

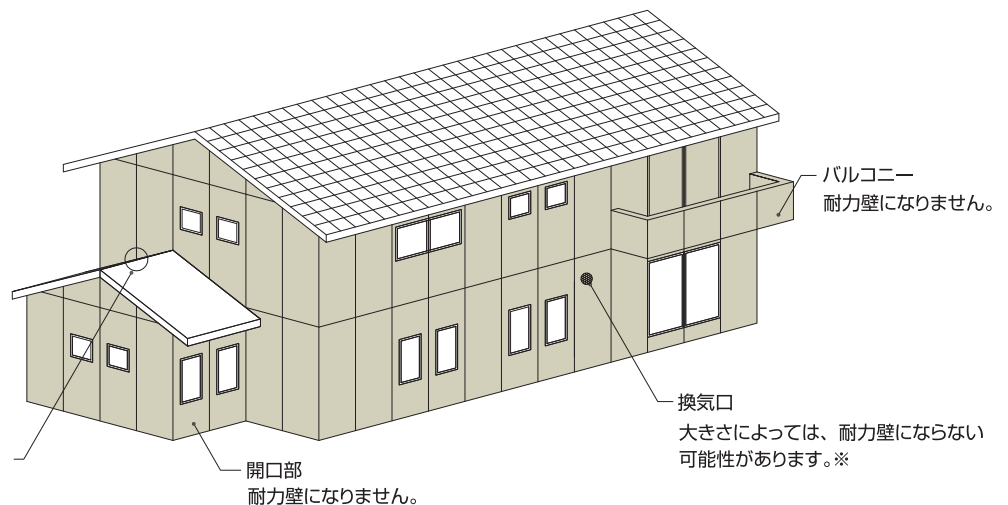
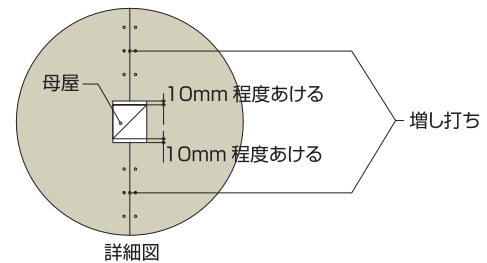
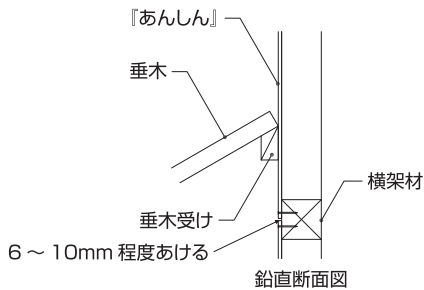
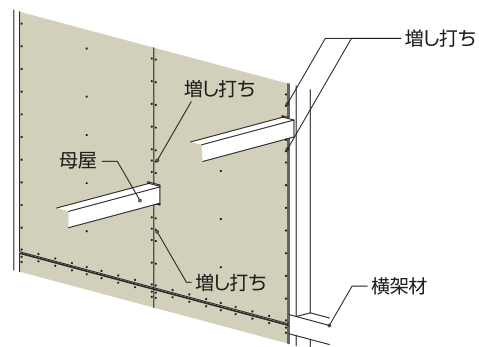
## 注意事項

- 耐力壁とする部位、『あんしん』の割付については、事前に確認してください。
- 耐力壁とする場合、下屋根・軒裏を施工する前に『あんしん』を取り付けます。
- 『あんしん』の高さ方向の継手は、横架材に設け、6～10mm程度すき間をあけてください。
- 『あんしん』と棟木・母屋との取り合いは、10mm程度の間隙をあけ『あんしん』を切り欠いてください。(切り欠き部のN50は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。)
- 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

下屋根・軒裏



棟木・母屋との取り合い(増し打ち例)



※あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

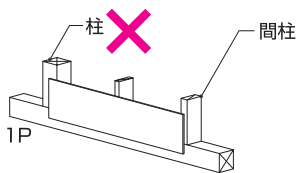
大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

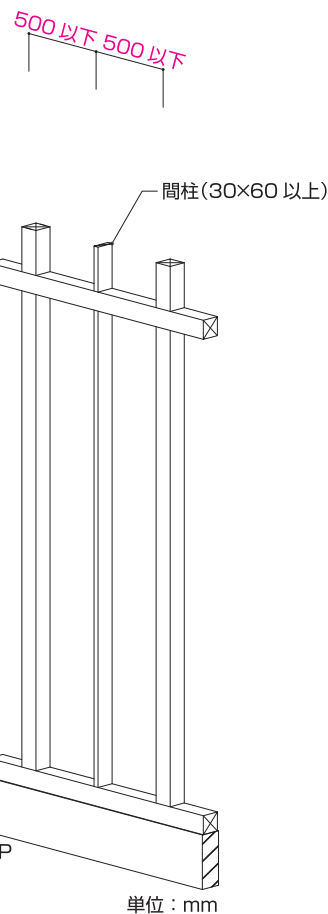
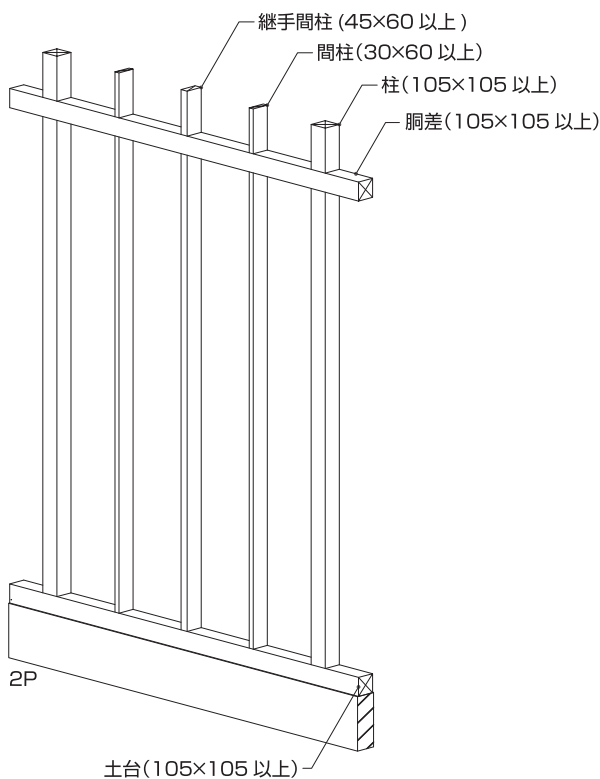
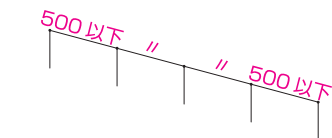
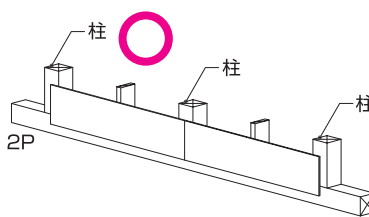
## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 耐力壁の両端は柱としてください。(端部を間柱とすると耐力壁になりません。)
- 柱の断面寸法が異なる場合 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

耐力壁端部を間柱とした場合



継手間柱を柱とした場合



新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2.1尺幅限定)

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

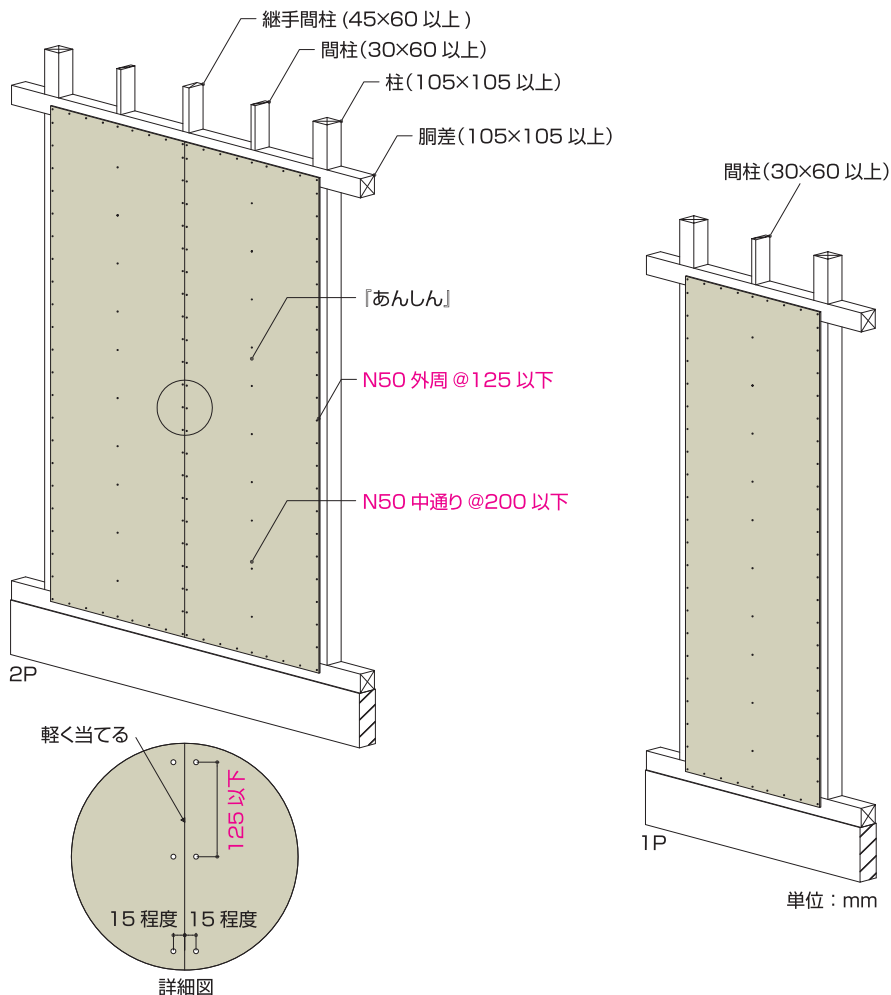
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面（くぎ打ち線印字面）を屋外に向けて使用します。取り付けには、**N50を用い、外周部 @125mm 以下、中通り部 @200mm 以下**で、柱、土台、梁、間柱等に打ち付けてください。
- くぎの縁端距離（『あんしん』端部からのくぎ打ち位置）は15mm程度としてください。
- N50は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS適合品N50くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS適合品N50くぎ（マックス楯）をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機（マックス楯）

HN-50N4(D)	CN-565CG
HN-65N4(D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。（くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。）



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18をご確認ください。

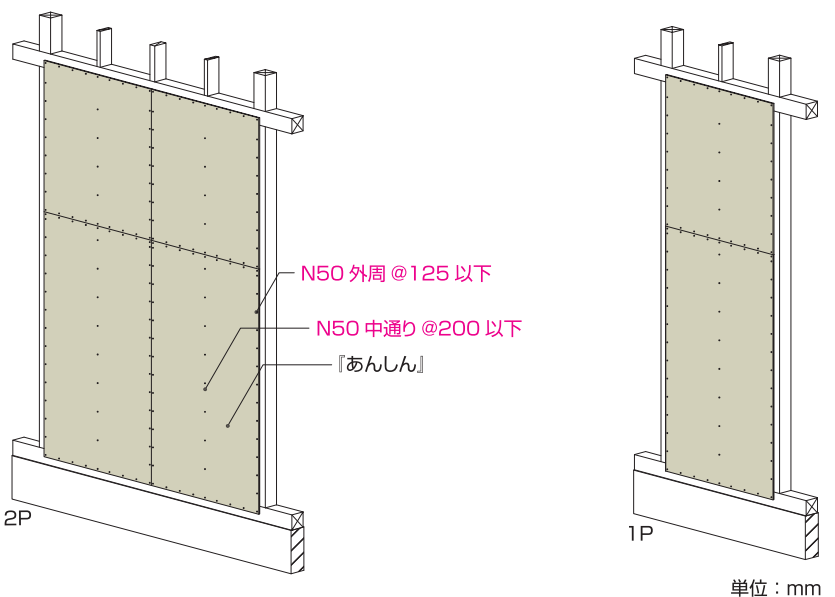
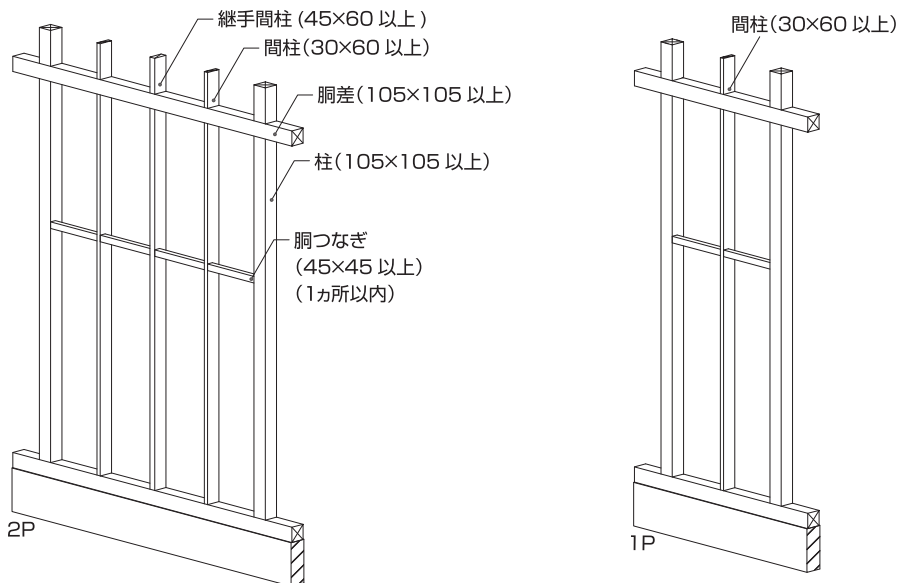
# 二手八耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.5

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0233	N50	外周125以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.5

## 『あんしん』の留め付け(壁の高さ方向に継手を設ける場合)

● 胴つなぎの断面寸法は 45×45mm 以上としてください。



※施工高さが3030mmまでは「大版張り」または「胴つなぎ」ありのどちらでも施工できます。  
 ※施工高さが3030mmを超える場合には「胴つなぎ」ありの方法で施工してください。

### <注意事項>

※大壁仕様 壁倍率2.5以外の仕様は壁の高さ方向に継手を設けしないでください。(継手を設けると、耐力壁になりません。)

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.1尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.1尺限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8

# 大壁仕様 壁倍率2.9

単位：mm

認定番号		FRM-0173
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500 以下
	継手間柱と間柱の間隔	500 以下
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	-
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		DM9F1
		DM9F2
		DA9Y
		DB9Y
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15 程度
	面材のかかり代	-



# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.9

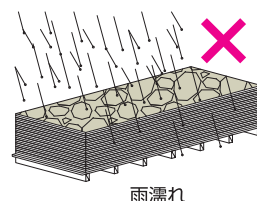
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

## 適用範囲

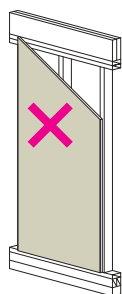
- 建築基準法施行令第 40 条～第 49 条(ただし、第 48 条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第 46 条第 4 項表 1 に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5 を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

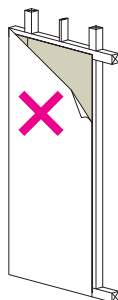
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



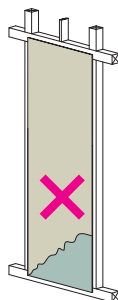
雨濡れ



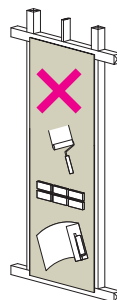
枠組壁工法



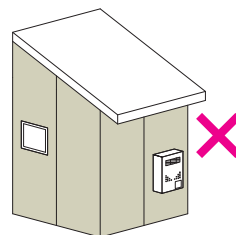
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



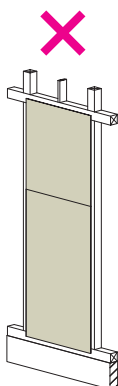
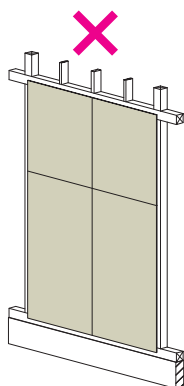
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の取り付けには、[鉄丸くぎ N50 \(JIS A 5508:2005\)](#) を用いてください。
- 『あんしん』の表面には、くぎの種類、くぎ間隔及びくぎ打ち線が印字されています。
- 『あんしん』は防水紙等で有効に防水されている部分に使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。直径 100 ~ 150mm 程度の貫通孔、300mm 角以下の換気扇用の孔<sup>※2</sup>は、一般には、開口に該当しないとされていますが、判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。  
※2 孔の周囲に継手間柱と同じ断面寸法の木材を組み、N50 を用いて、孔の周囲 @100mm 以下で打ち付けた場合。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる外壁通気構法を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 壁倍率 2.9 は壁の高さ方向に継手を設けしないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2 (3尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.5尺間定)

26

# ニチハ耐力面材『あんしん』

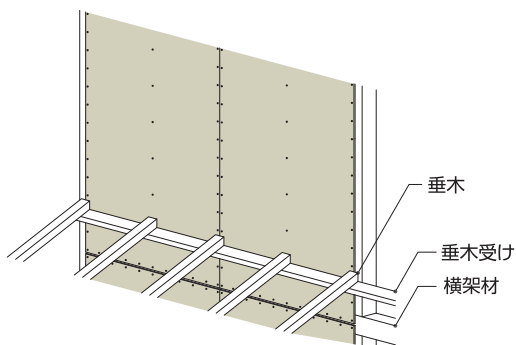
大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

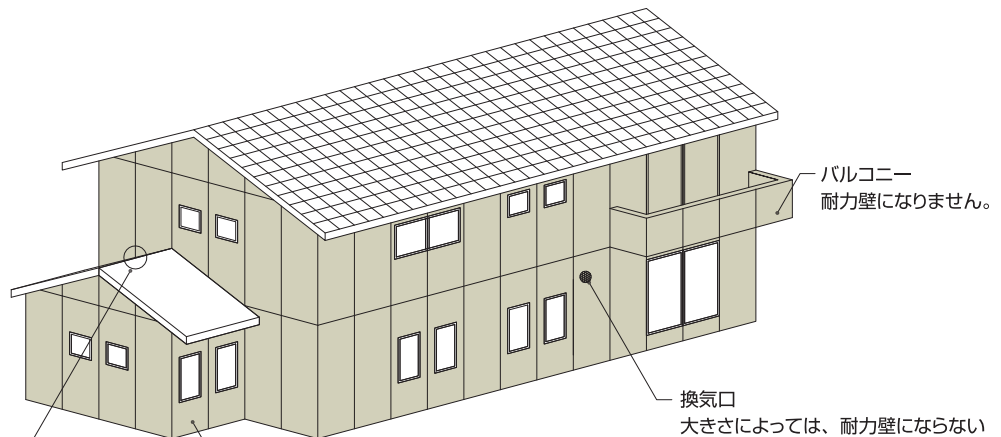
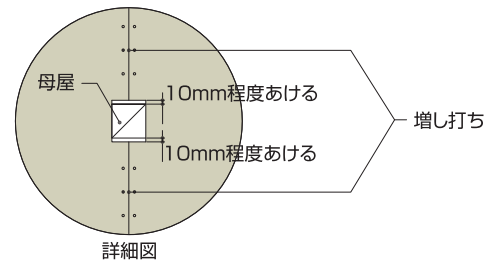
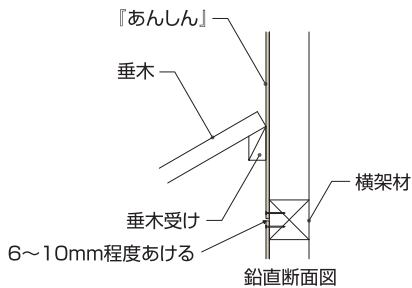
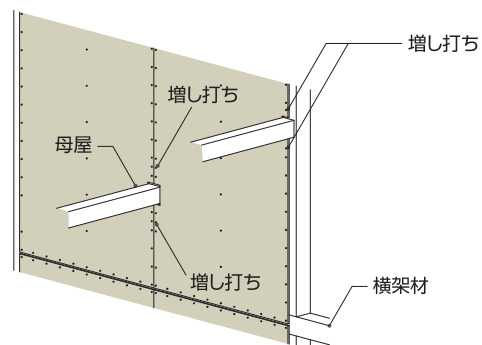
## 注意事項

- 耐力壁とする部位、『あんしん』の割付については、事前に確認してください。
- 耐力壁とする場合、下屋根・軒裏を施工する前に『あんしん』を取り付けます。
- 『あんしん』の高さ方向の継手は、横架材に設け、6～10mm程度すき間をあけてください。
- 『あんしん』と棟木・母屋との取り合いは、10mm程度の間隙をあけ『あんしん』を切り欠いてください。(切り欠き部のN50は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。)
- 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

下屋根・軒裏



棟木・母屋との取り合い (増し打ち例)



『あんしん』と棟木・母屋との取り合い部位によっては、耐力壁にならない可能性があります。 ※

※あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。

# 二手ハ耐力面材『あんしん』

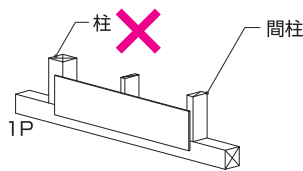
大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

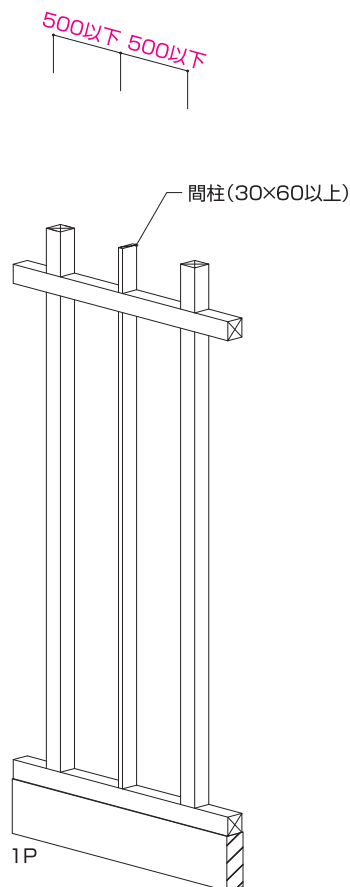
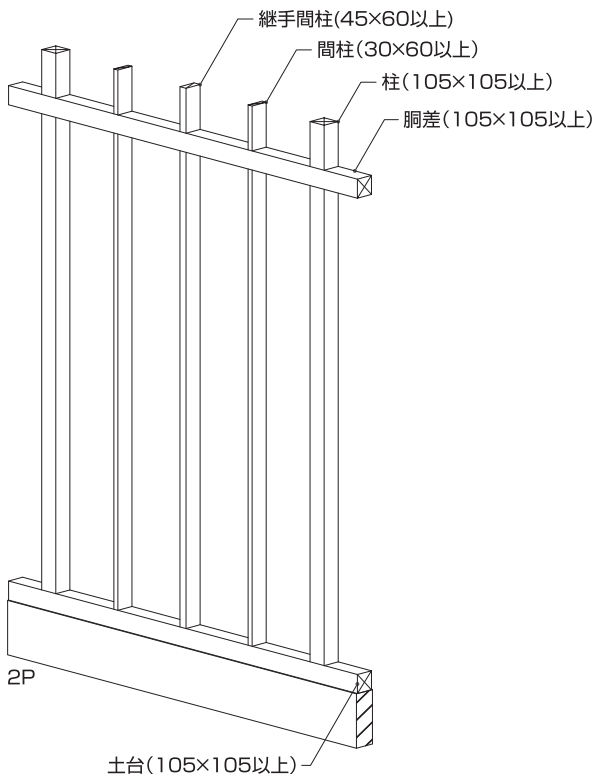
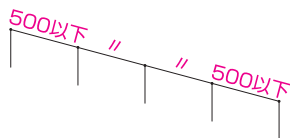
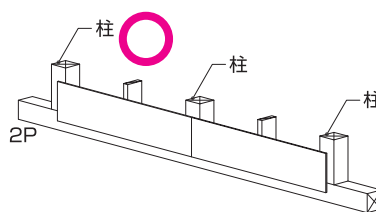
## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30× 奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45× 奥行き 60mm 以上としてください。
- 耐力壁の両端は柱としてください。(端部を間柱とすると耐力壁になりません。)
- 柱の断面寸法が異なる場合 木材、合板等の調整材で外面を合わせることができます。調整材は鉄丸くぎ等を使用して柱、間柱に確実に取り付けてください。

耐力壁端部を間柱とした場合



継手間柱を柱とした場合



単位:mm

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2.1m幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2.1m幅限定)

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率2.9

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

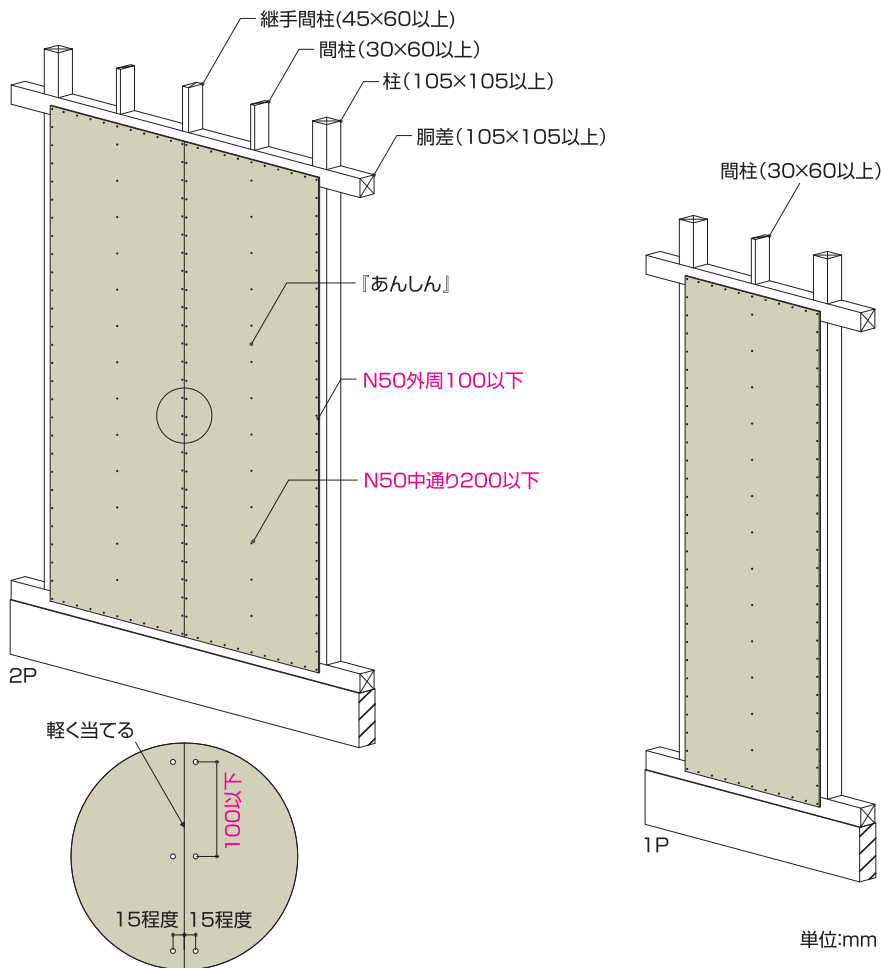
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面（くぎ打ち線印字面）を屋外に向けて使用します。取り付けには、**N50を用い、外周部 @100mm 以下、中通り部 @200mm 以下**で、柱、土台、梁、間柱等に打ち付けてください。
- くぎの縁端距離（『あんしん』端部からのくぎ打ち位置）は15mm程度としてください。
- N50は、「商品名：FC50V8(N50) JIS 適合品 N50 くぎ」、「商品名：FCP50V8(N50) JIS 適合品 N50 くぎ(マックス棟)」をお薦めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス棟)

HN-50N4(D)	CN-565CG
HN-65N4(D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。（くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。）



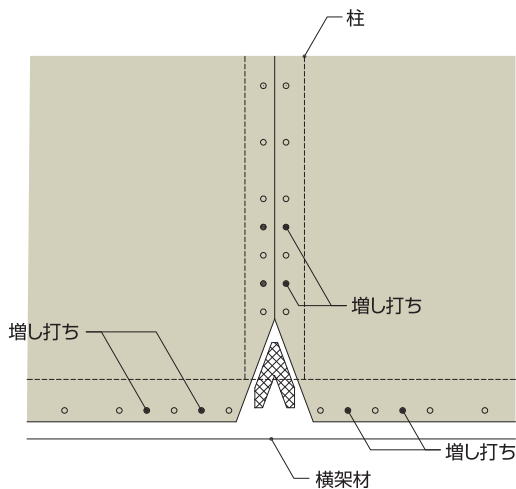
- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18をご確認ください。



## 参考図（接合金物と『あんしん』の取り合い）

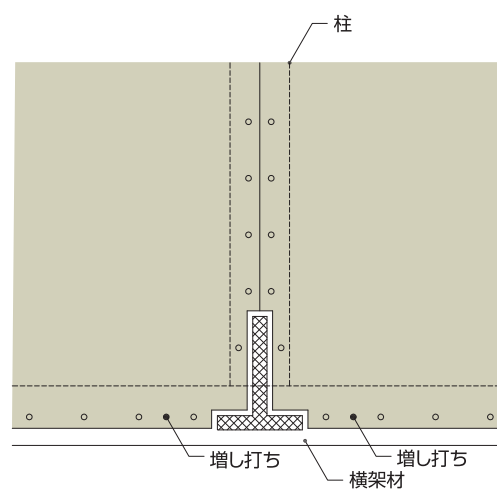
### 山形プレート（増し打ち例）

- 山形プレートに干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。



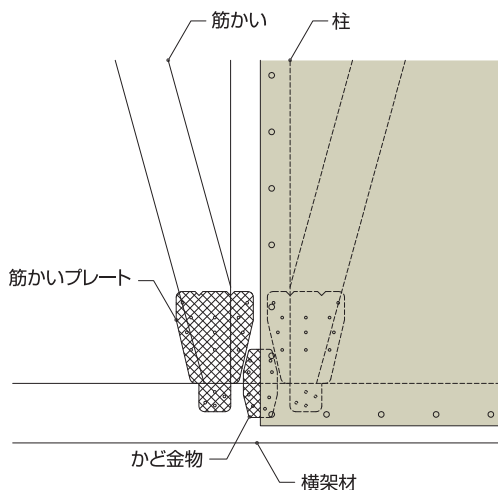
### かど金物（増し打ち例）

- かど金物に干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。



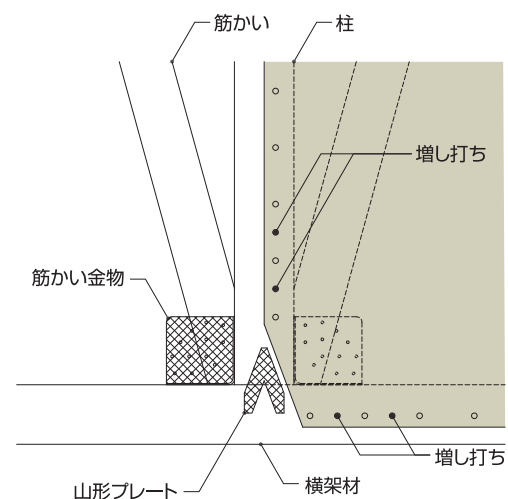
### 筋かいプレート

- 筋かいプレートは、『あんしん』に干渉しないように、板厚が薄く、エンボス加工によりビス頭が表面に出張らないものを使用します。
- 筋かいプレートの上から『あんしん』を施工します。
- 筋かいプレートの上の『あんしん』に割れが生じた場合には、プレートがない位置に打ち直してください。



### 筋かい金物（増し打ち例）

- 筋かい金物は、『あんしん』に干渉しないように、柱内に納まるものを使用してください。
- 山形プレート、かど金物(T型、L型)が干渉しないように、『あんしん』を切り欠いてください。
- 切り欠き部の N50 は、切り欠きによって打てなくなった本数以上を近傍に増し打ちしてください。

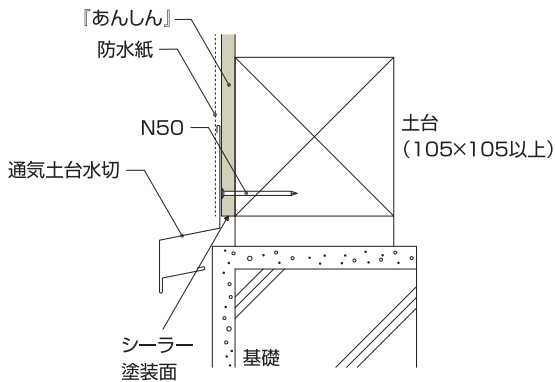


本納まりはあくまで参考例です。施工方法は、あらかじめ指定確認検査機関などへご確認ください。

## 標準施工図 (単位: mm)

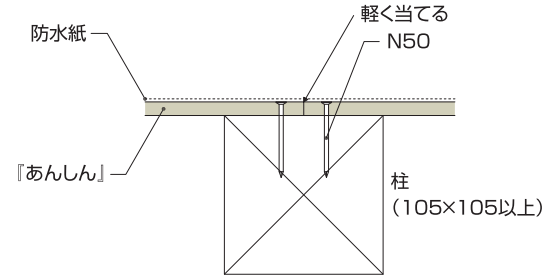
### 土台部

- 『あんしん』は短辺小口をシーラーで塗装しています。シーラー塗装がある(切断しない)短辺小口を下に向けてください。
- 『あんしん』を基礎に埋め込んだり、基礎に接触させないでください。

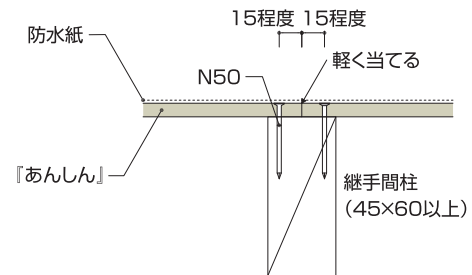


### 左右接合部

- 『あんしん』の継手は軽く当ててください。

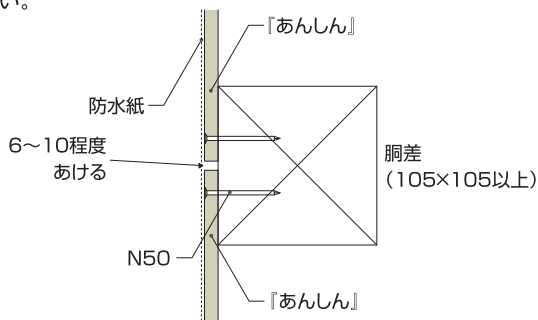


- N50の縁端距離は15mm程度とし、継手間柱に確実に打ち付けてください。

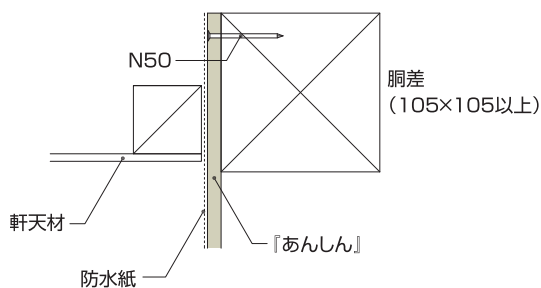


### 胴差、梁部

- 『あんしん』の継手は6~10mm程度すき間をあけてください。

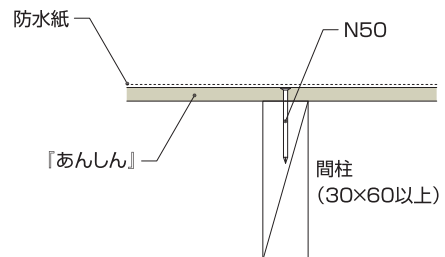


### 軒裏部 (軒裏部見切縁から排気する場合)



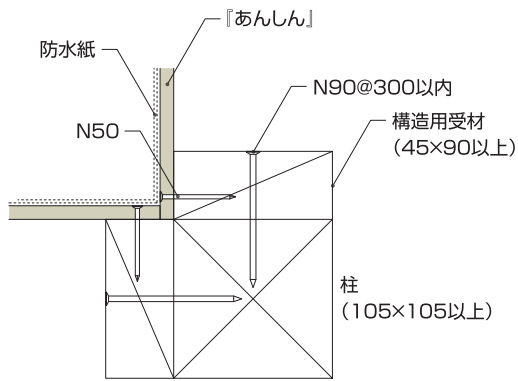
### 間柱部

- N50は間柱に確実に打ち付けてください。



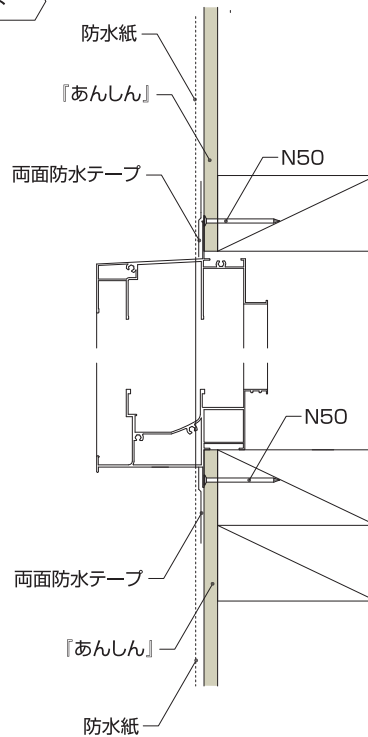
## 標準施工図 (単位：mm)

入隅部

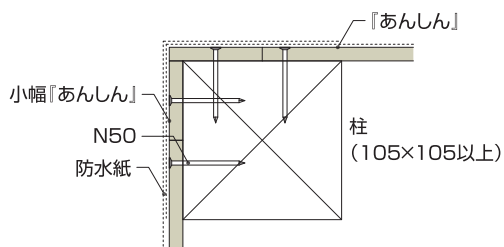


○ 構造用受材の断面寸法、柱への打ち付け方法は、木造住宅建築確認申請用の構造標準納まり図(財)日本住宅・木材技術センター)を参考にしております。判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。

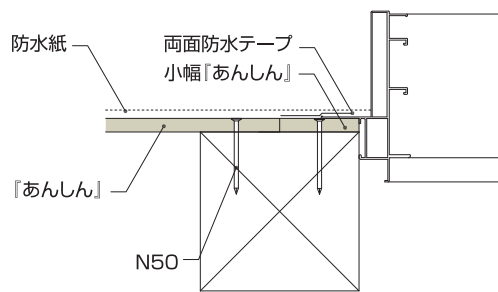
開口部上下



出隅部



開口部左右



本納まりはあくまで参考例です。施工方法は、あらかじめ指定確認検査機関などへご確認ください。

# 大壁仕様 壁倍率4.4

単位：mm

認定番号		FRM-0458
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×105 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	-
	柱の間隔	910
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	-
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,880 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		-
		-
		-
		DL9V1K
		DL9V2K
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N65 または NZ65
	間隔(外周部)	75 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	25±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差 及び桁に 50mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

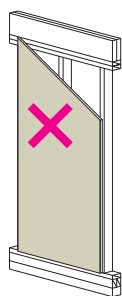
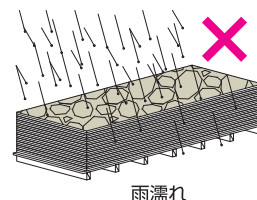
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

## 適用範囲

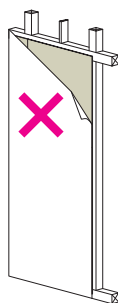
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

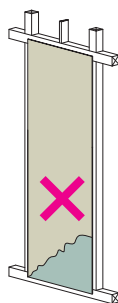
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



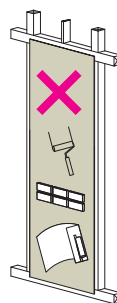
枠組壁工法



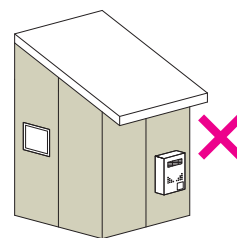
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



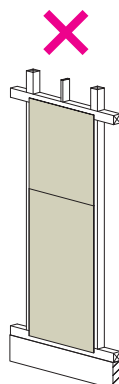
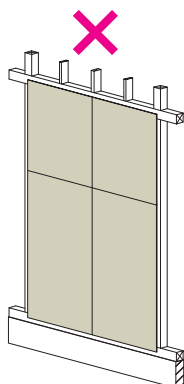
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、**鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)**を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- **壁倍率 4.4 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)**



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新  
築

屋  
外  
用

『  
あん  
しん  
』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.5  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率  
2.8  
(2.7尺幅限定)



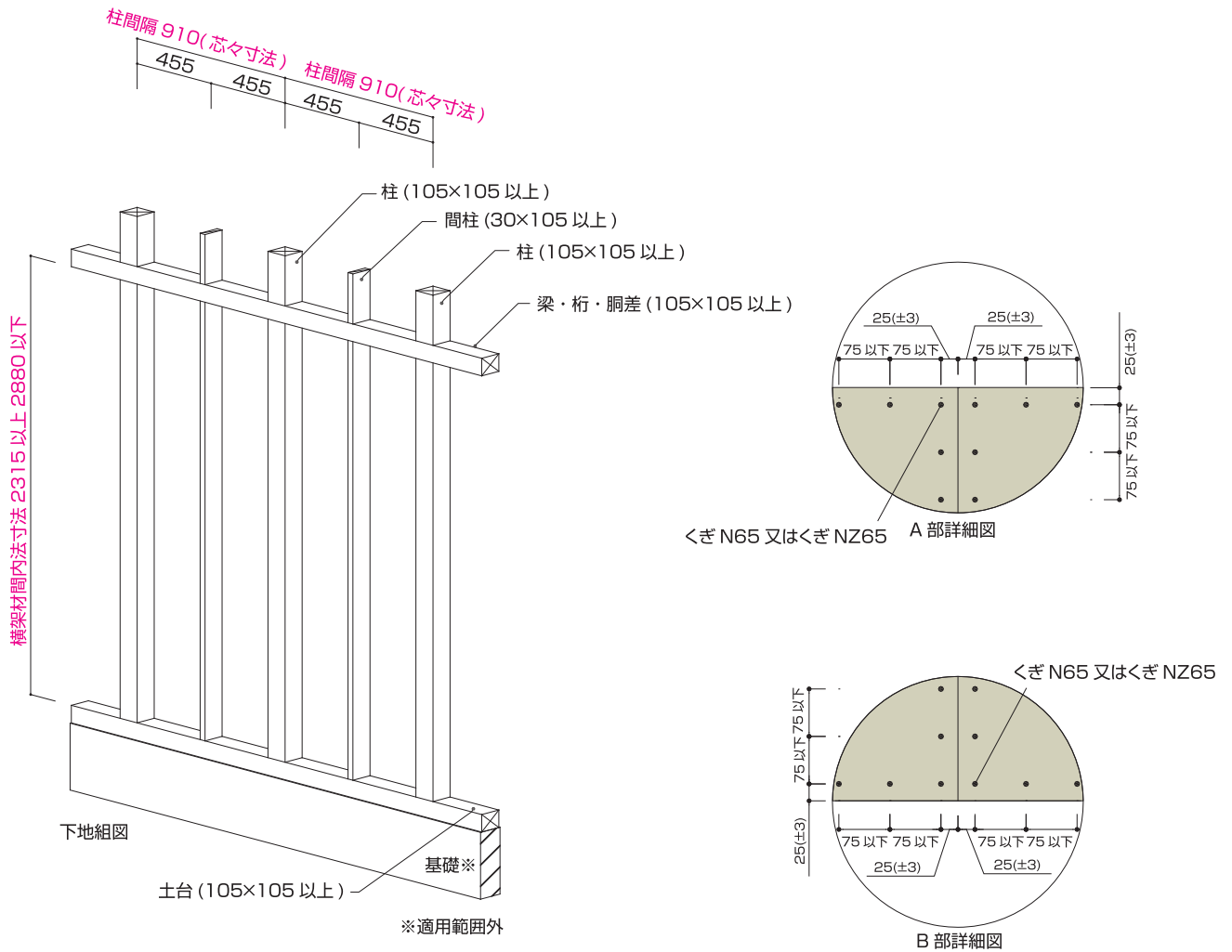
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 105mm 以上としてください。
- **柱の間隔は 910mm(芯々寸法)とし、柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,880mm 以下としてください。**
- 間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち又はほぞ差しとし、下部は突き付け又は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



単位:mm

壁倍率  
大壁仕様 2.5

壁倍率  
大壁仕様 2.9

壁倍率  
大壁仕様 4.4

壁倍率  
大壁仕様 5.0

(3尺幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.5

(3尺幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 3.2

(スクリーン幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.5

(スクリーン幅限定)  
大壁床勝ち仕様壁倍率 2.8

# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率4.4

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0458	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	25±3	105×105 以上	30×105 以上	4.4

新  
築

屋  
外  
用

『あんしん』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
3.2 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.5 (2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

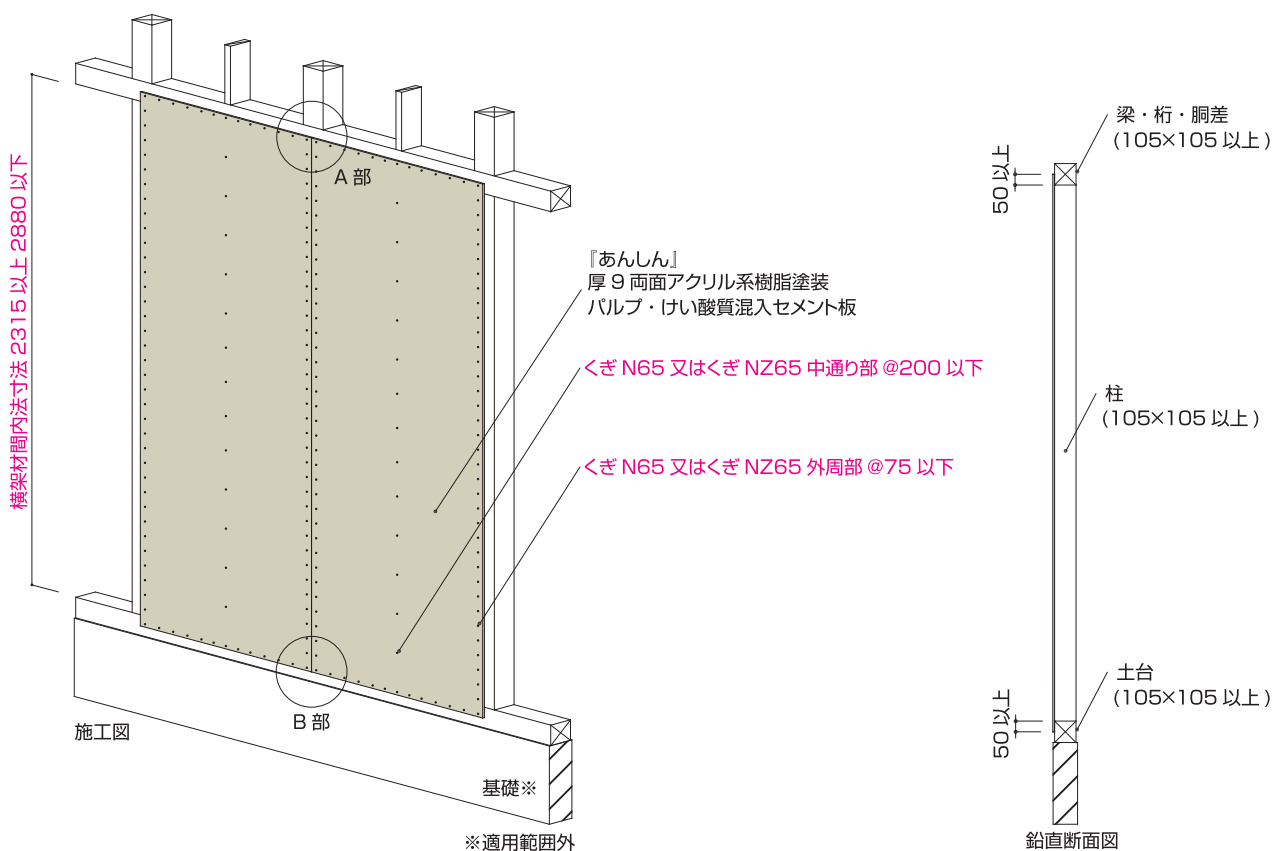
大壁勝ち仕様  
壁倍率  
2.8 (2.1尺幅限定)

## 『あんしん』の留め付けに用いるくぎ

- 鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)

## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の留め付けにはくぎ **N65 又は NZ65** を用い、**外周部 75mm 以下、中通り部 200mm 以下**の間隔で柱、土台、梁、間柱に打ちつけてください。
- くぎの縁端距離は 25mm(±3mm) としてください。
- 『あんしん』のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上としてください。
- くぎ打ちは、『あんしん』に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちを行ってください。



単位:mm

- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

# 大壁仕様 壁倍率5.0

単位：mm

認定番号		FRM-0425
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	30×105 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	-
	柱の間隔	910
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	-
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N65 または NZ65 及びめっき鋼板 (品番：FA4000)
	間隔(外周部)	75 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差 及び桁に 50mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

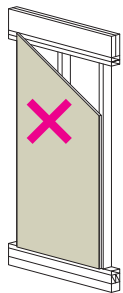
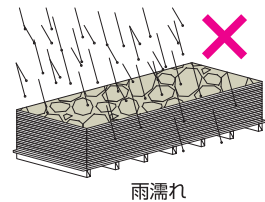
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 適用範囲

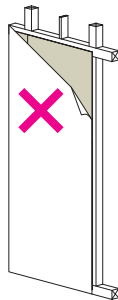
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁は、建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用できません。
- 平成12年建設省告示第1460号第二号ただし書きの規定に適合することを確かめるために本構造方法の倍率の数値を用いる場合、当該倍率の数値に1.0を加えた数値を用いてください。
- 平成12年建設省告示第1352号における壁率比は、令第46条第4項表1の数値として、本構造方法の倍率の数値及び当該倍率の数値に1.0を加えた数値を用いた場合のいずれについても求め、同告示第三号の基準を満たすことを確認してください。

## 禁止事項

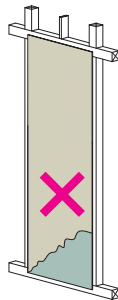
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



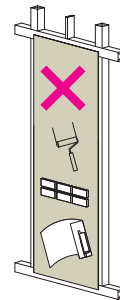
枠組壁工法



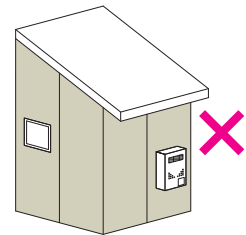
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



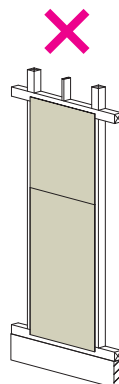
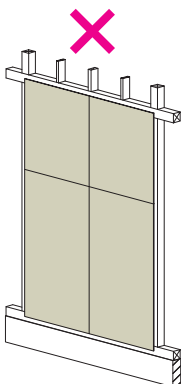
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N65 又は NZ65 (JIS A 5508:2009) を用いてください。
- めっき鋼板にはくぎ打ち位置がマーキングされています。また、『あんしん』の表面の中通り部にはくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁の適用範囲と施工仕様については、認定書の別添にも記載されておりますので、確認のうえご使用ください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 壁倍率 5.0 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁勝手仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率 2.5  
(2.5尺幅限定)

大壁勝手仕様  
壁倍率 2.8  
(2.5尺幅限定)

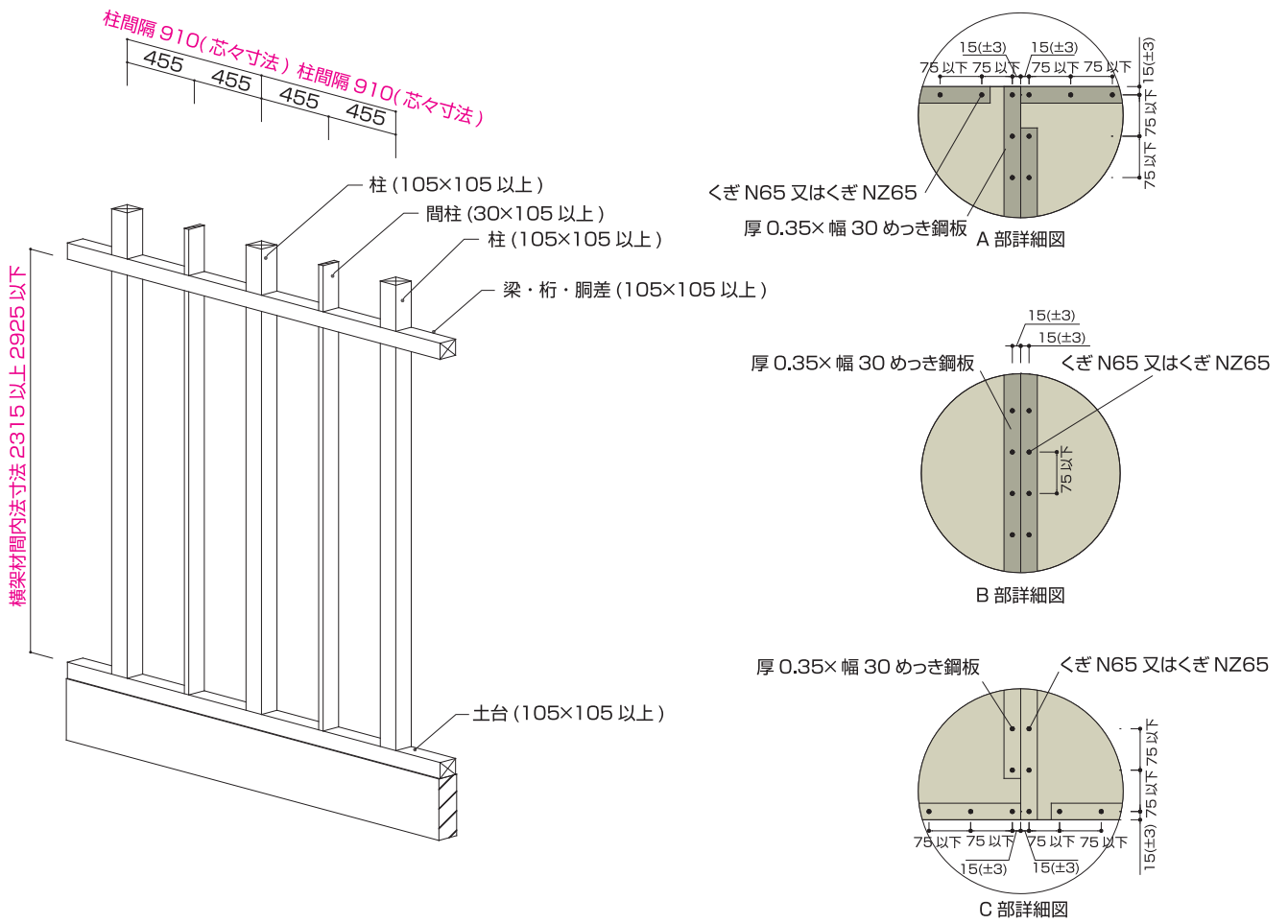
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差及び桁の断面寸法は 105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 30×奥行き 105mm 以上としてください。
- 柱の間隔は 910mm(芯々寸法)とし、柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。
- 上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。
- 間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとし、下部は突き付け又は大入れとし、くぎ N75 を 2 本斜め打ちしてください。





# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁仕様  
壁倍率5.0

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	壁倍率
FRM-0425	N65 NZ65	外周75以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	30×105 以上	5.0

## 『あんしん』の留め付けに用いるくぎ

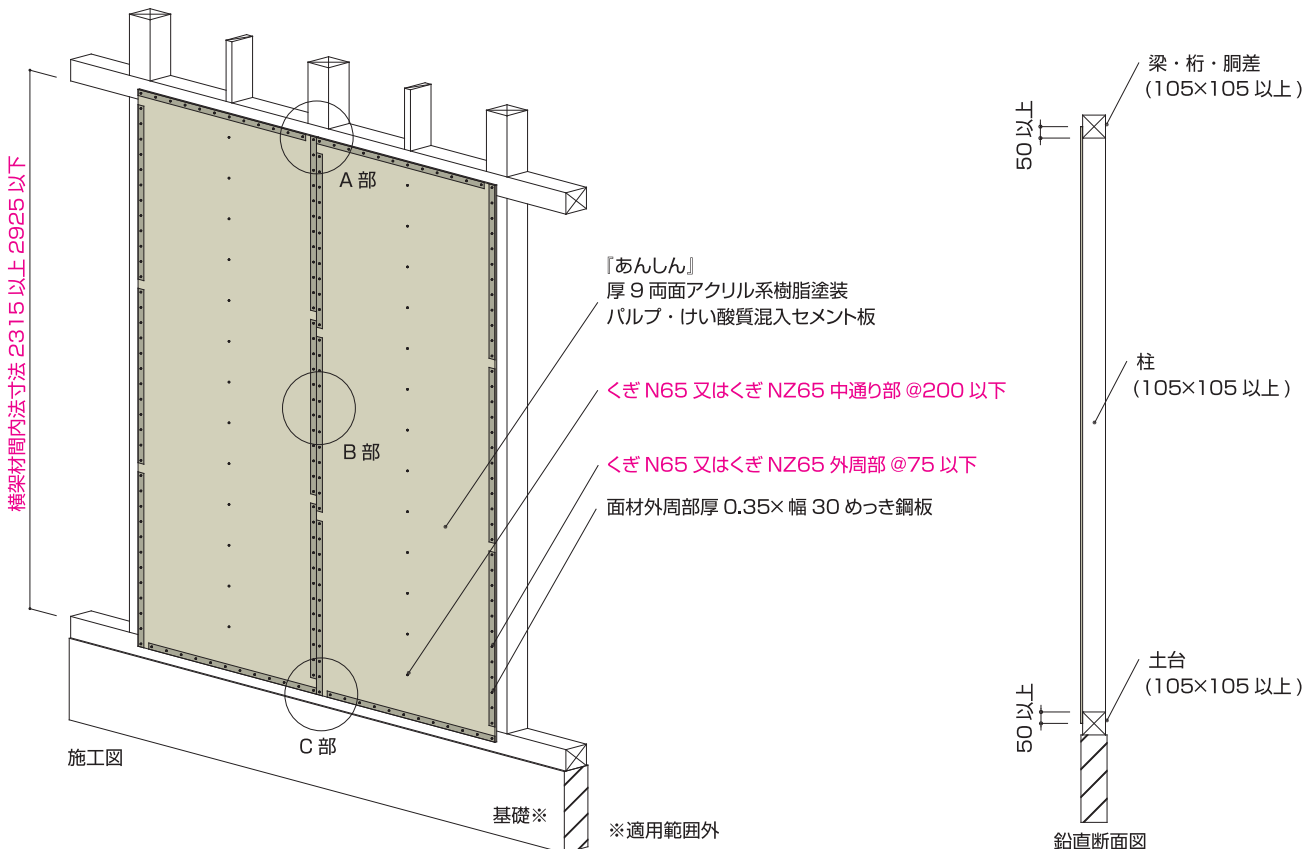
- 鉄丸くぎ N65 又はめっき鉄丸くぎ NZ65 (JIS A 5508:2009)

## 耐力壁の施工仕様の概要

- 『あんしん』外周部めっき鋼板は、『あんしん』を軸組材に留め付ける前に平置き状態で粘着テープを用い、『あんしん』外周部に仮留めしてください。
- 『あんしん』外周部短手方向は、『あんしん』の角とめっき鋼板の角を合わせ、『あんしん』上部と下部で対角となるように配置してください。
- 『あんしん』外周部長手方向は、上記のもう一方の角に1本目のめっき鋼板の角と『あんしん』の角を合わせ、2本目以降のめっき鋼板は、めっき鋼板の長手と『あんしん』の長手を合わせ、めっき鋼板同士が重ならない位置で、かつ、めっき鋼板相互のくぎ打ち位置マークの間隔が75mm以下となるように配置してください。なお、『あんしん』外周部長手方向のめっき鋼板の端部は、『あんしん』外周部短手方向のめっき鋼板と重ならない位置で切断します。

## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の留め付けにはくぎ N65 又は NZ65 を用い、外周部 75mm 以下、中通り部 200mm 以下の間隔で柱、土台、梁、間柱等に打ちつけてください。
- くぎの縁端距離は 15mm (±3mm) としてください。
- 『あんしん』のかかり代は、柱、土台、梁、胴差及び桁に 50mm 以上とってください。



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18をご確認ください。

単位:mm

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.5 (2.5尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.5尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.5尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.5尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2.5尺幅限定)

# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (3尺幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0457
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	455
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

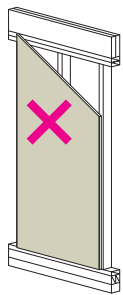
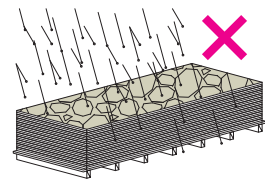
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 適用範囲

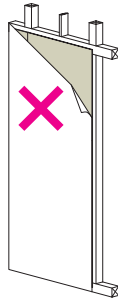
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

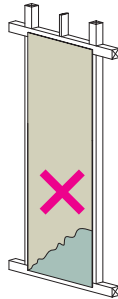
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



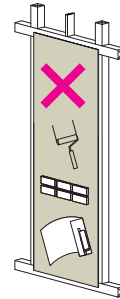
枠組壁工法



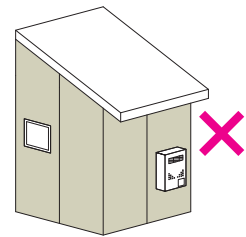
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



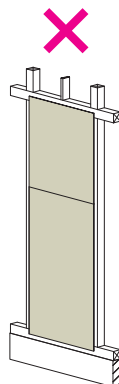
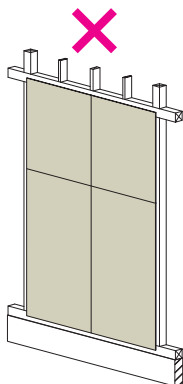
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.5は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁勝ち仕様壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率2.5  
(2.1尺幅限定)

大壁勝ち仕様壁倍率2.8  
(2.1尺幅限定)

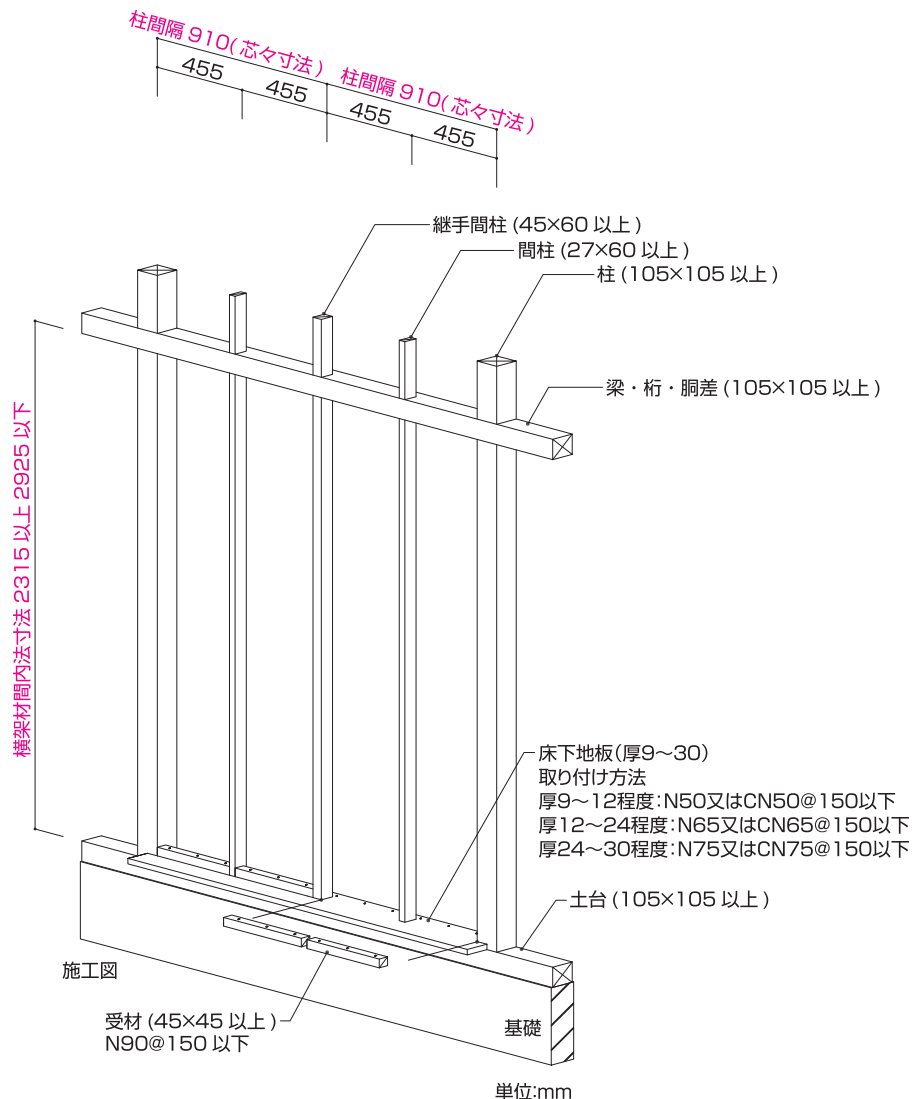
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45×幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm：N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm：N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm：N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90 を使い、150mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0457	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

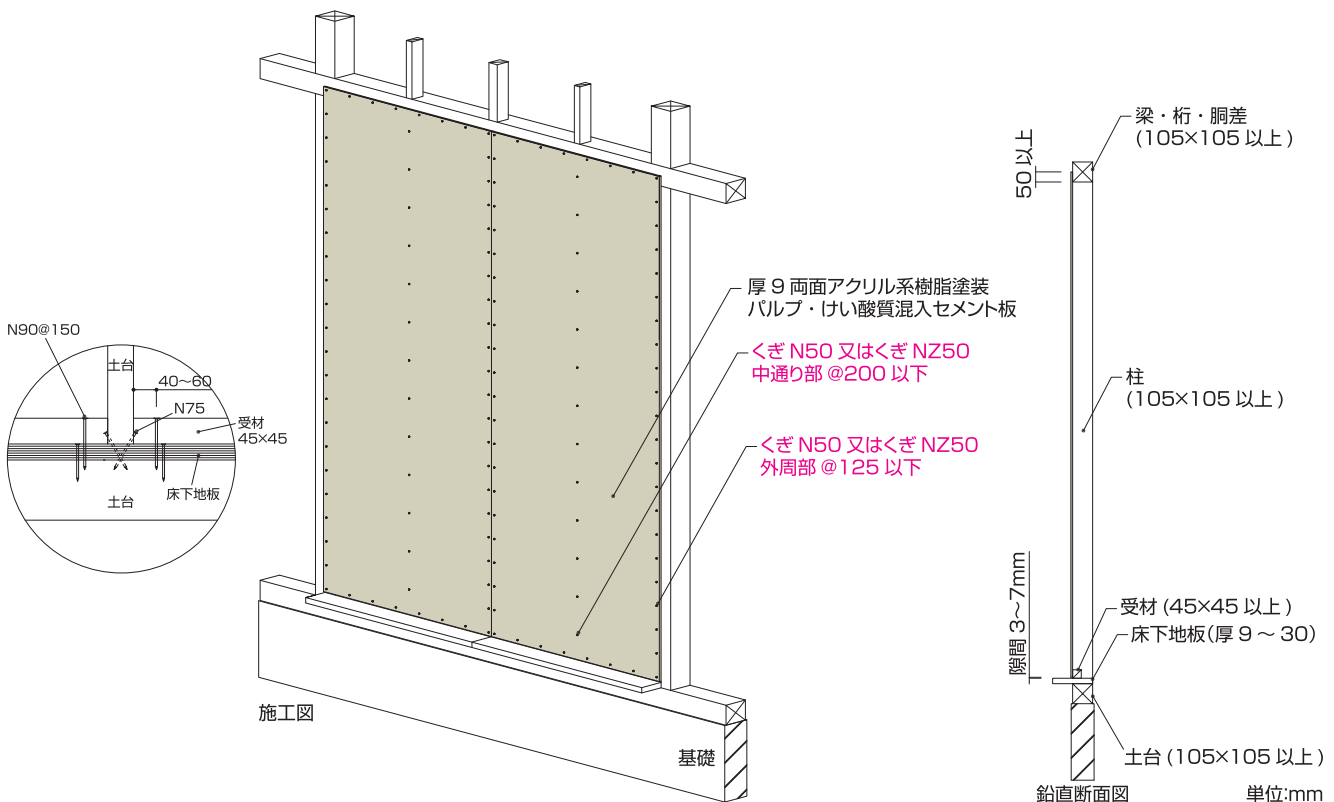
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@125mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス楯)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス楯)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.5 (1.5尺幅限定)

大壁勝ち仕様 壁倍率 2.8 (1.5尺幅限定)



# 大壁床勝ち仕様 壁倍率3.2 (3尺幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0456
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	455
	継手間柱と間柱の間隔	455
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,620 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		DL9F1
		DL9F1K
		DL9F2
		DL9F2K
		-
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

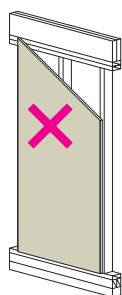
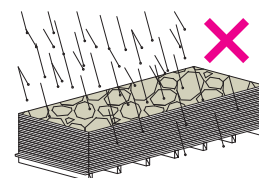
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

## 適用範囲

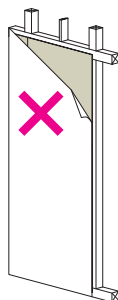
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

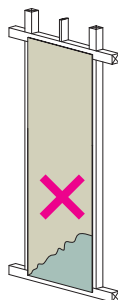
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



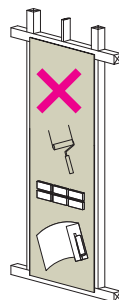
枠組壁工法



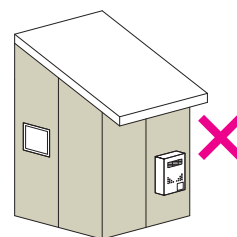
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



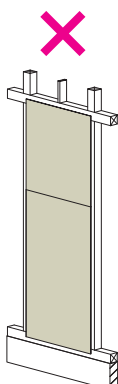
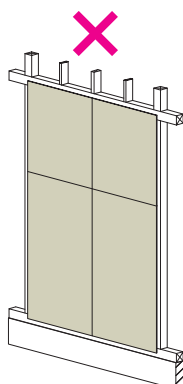
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率 3.2 は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5  
(2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.8  
(2尺幅限定)

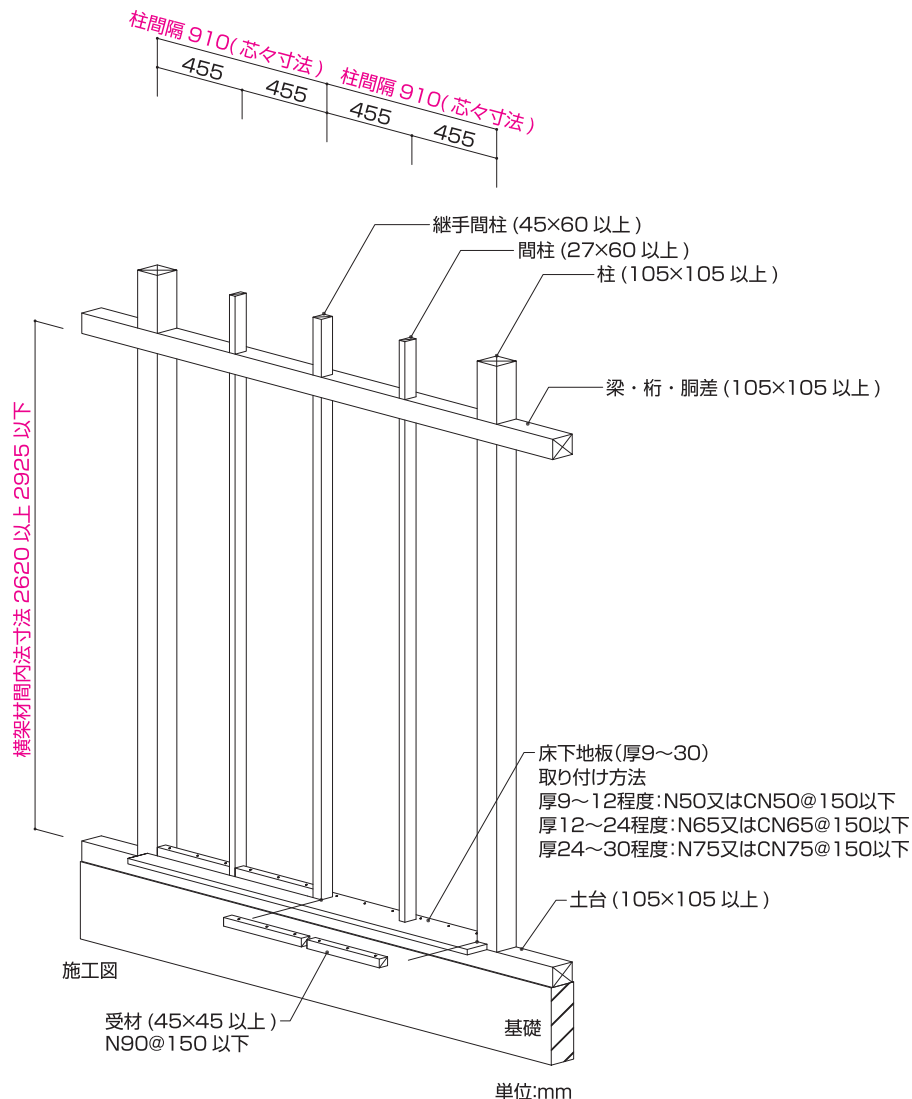
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45×幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm：N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm：N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm：N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 455mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,620mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90 を使い、150mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0456	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	3.2

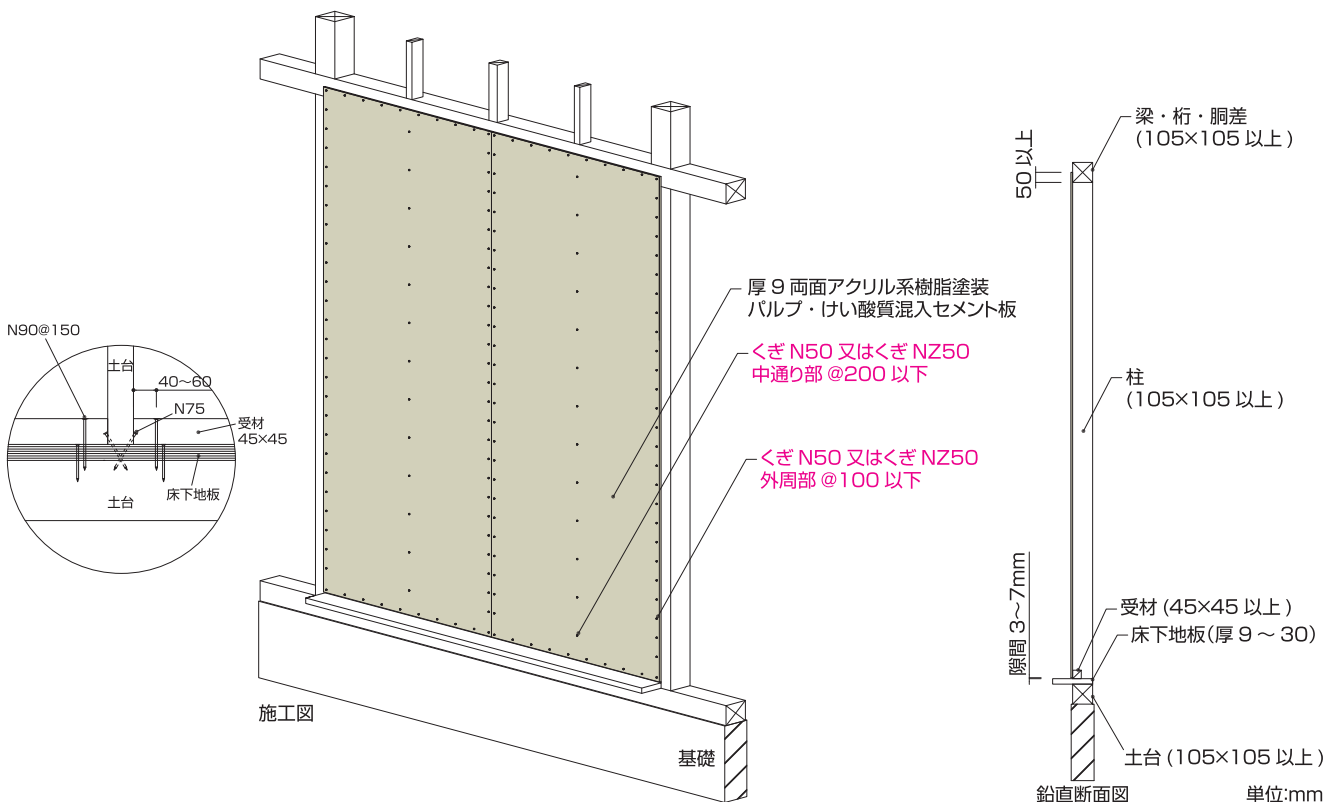
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@100mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.5 (2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2尺幅限定)

大壁床勝ち仕様 壁倍率 2.8 (2尺幅限定)

# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.5 (メーター幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0497
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行き)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行き)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500
	継手間柱と間柱の間隔	500
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	125 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上



# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

新  
築

屋  
外  
用

『あんしん』

商  
品  
特  
長

商  
品  
案  
内

設  
計  
施  
工  
資  
料

共  
通

大壁仕様  
壁倍率  
2.5

大壁仕様  
壁倍率  
2.9

大壁仕様  
壁倍率  
4.4

大壁仕様  
壁倍率  
5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
2.5  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(メーター幅限定)

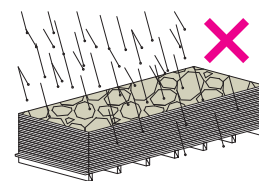
大壁床勝ち仕様  
壁倍率  
2.8  
(メーター幅限定)

## 適用範囲

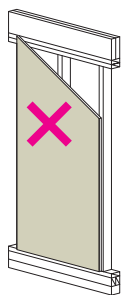
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

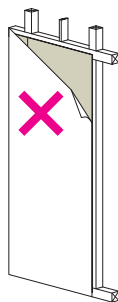
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



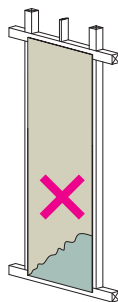
雨濡れ



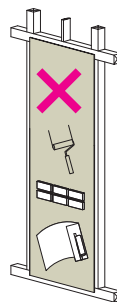
枠組壁工法



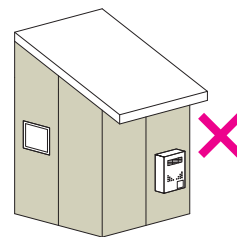
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



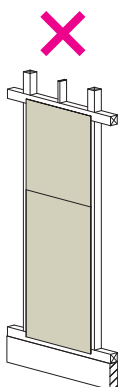
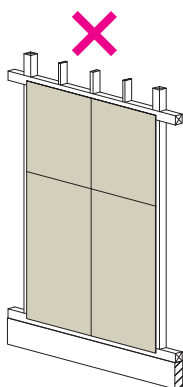
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.5は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

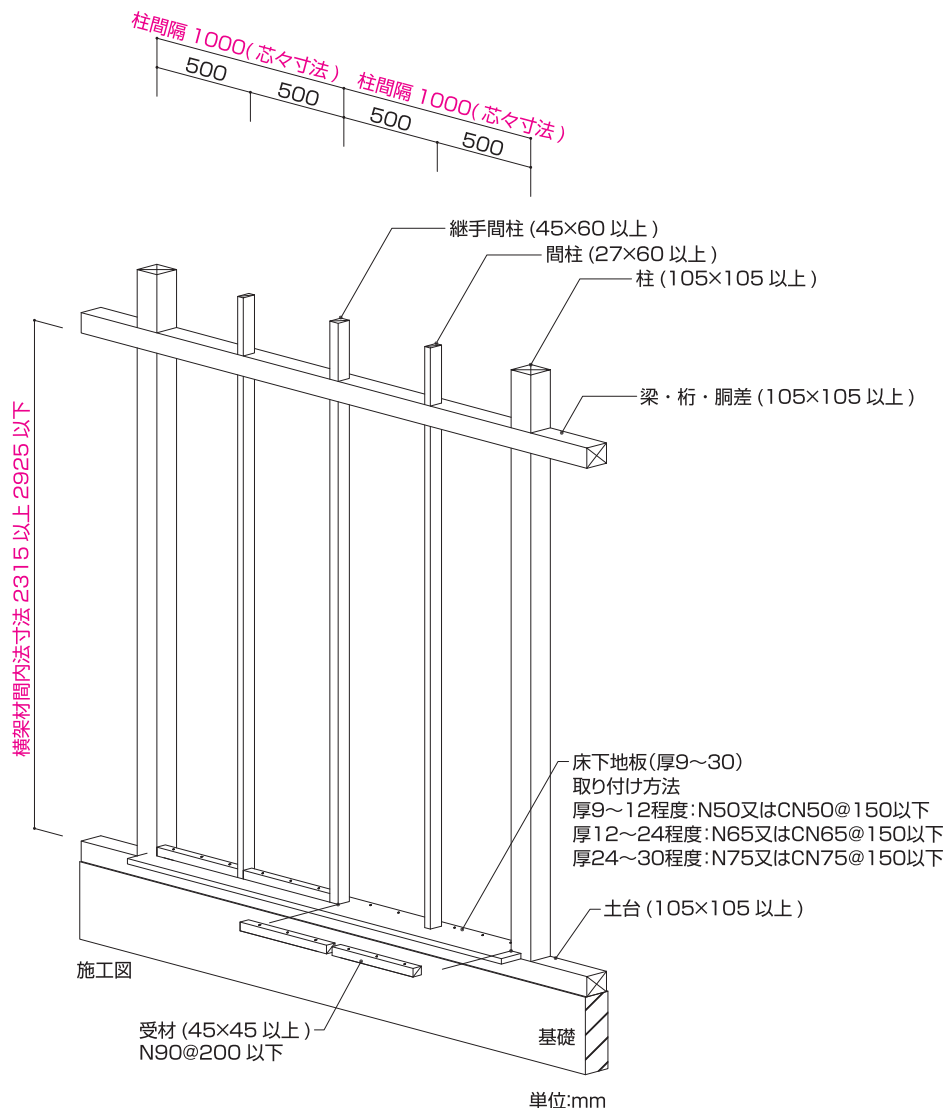
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27×奥行き 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45×奥行き 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45×幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm：N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm：N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm：N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 500mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90(JIS A 5508:2009)を用い、200mm 以下の間隔で受材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0497	N50 NZ50	外周125以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.5

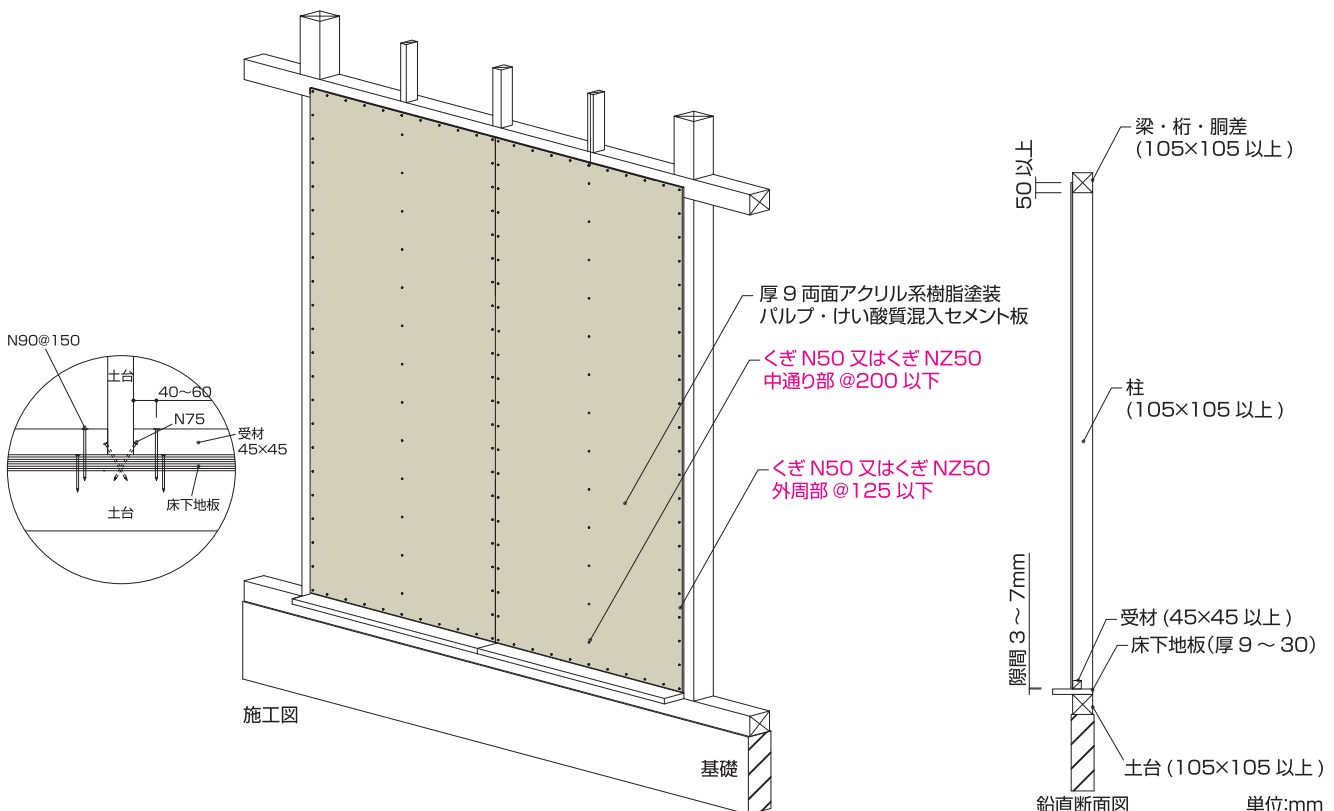
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@125mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス株)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス株)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分はくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様 壁倍率 2.5

大壁仕様 壁倍率 2.9

大壁仕様 壁倍率 4.4

大壁仕様 壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (3尺幅限定) 2.5

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (3尺幅限定) 3.2

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (メーター幅限定) 2.5

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (メーター幅限定) 2.8

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (メーター幅限定) 2.5

大壁床勝ち仕様 壁倍率 (メーター幅限定) 2.8

# 大壁床勝ち仕様 壁倍率2.8 (メーター幅限定)

単位：mm

認定番号		FRM-0496
軸 組 仕 様	柱、土台、梁、胴差および桁	105×105 以上
	間柱(幅×奥行)	27×60 以上
	継手間柱(幅×奥行)	45×60 以上
	柱の間隔	-
	柱と間柱の間隔	500
	継手間柱と間柱の間隔	500
	上部横架材と下部横架材の内法寸法	2,315 以上 2,925 以下
当該耐力壁に使用できる『あんしん』		厚さ 9
		-
		-
		-
		-
		DM9F1
		DM9F2
		-
		-
留 め 付 け 仕 様	くぎ	N50 または NZ50
	間隔(外周部)	100 以下
	間隔(中通り部)	200 以下
	縁端距離	15±3
	面材のかかり代	柱、梁、胴差及び 桁に 50mm 以上、 受材に 38mm 以上、 継手間柱に 20mm 以上

# 二子ハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

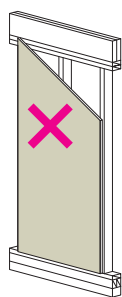
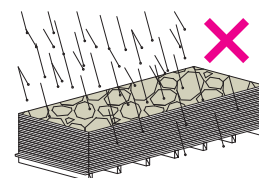
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

## 適用範囲

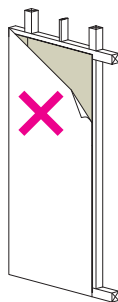
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

## 禁止事項

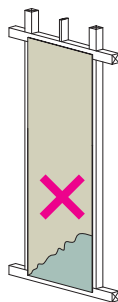
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。  
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。  
(重い物は躯体に取り付けてください。)



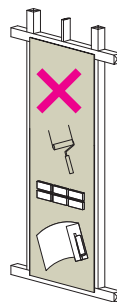
枠組壁工法



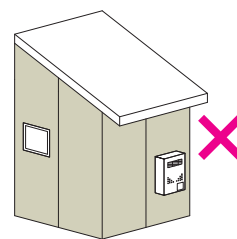
透湿性なし  
防水紙



濡れている  
『あんしん』施工



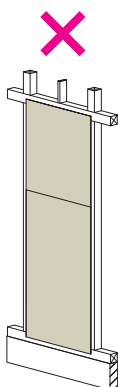
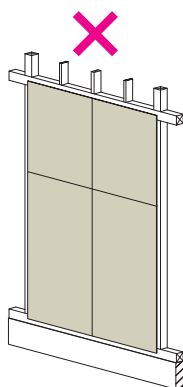
塗装、タイル、  
モルタル下地材



重い物

## 注意事項

- 『あんしん』の表面にはくぎの種類、くぎ間隔およびくぎ打ちラインが印字されています。
- 『あんしん』の留め付けには、鉄丸くぎ N50 又はめっき鉄丸くぎ NZ50(JIS A 5508:2009) を用いてください。
- 『あんしん』は、防水紙等で有効に防水されている部分で使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる「外壁通気構法」を採用してください。  
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 床勝ち仕様壁倍率2.8は壁の高さ方向に継手を設けないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率2.5

大壁仕様  
壁倍率2.9

大壁仕様  
壁倍率4.4

大壁仕様  
壁倍率5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率3.2  
(3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.5  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)



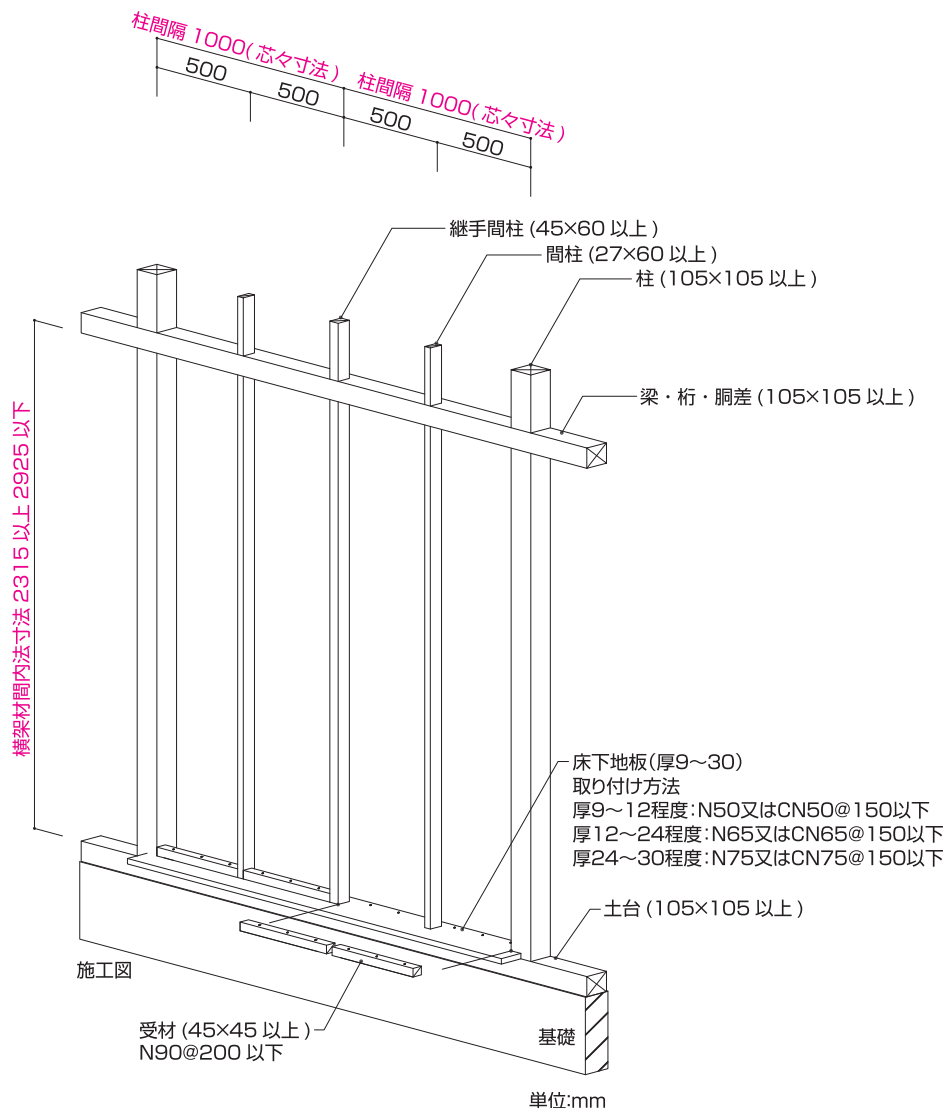
# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

## 軸組材等の仕様

- 柱、土台、梁、胴差および桁の断面寸法は、105×105mm 以上としてください。
- 間柱の断面寸法は見付幅 27× 奥行 60mm 以上としてください。
- 『あんしん』を継ぐ間柱(以下「継手間柱」という。)の断面寸法は見付幅 45× 奥行 60mm 以上としてください。
- 受材の断面寸法は厚 45× 幅 45mm 以上としてください。
- 床下地板は、構造用合板等の木質系床下地板とし、取り付け方法は、板厚に応じて以下の方法を原則としてください。
  - ① 厚 9～12mm : N50、CN50 のいずれか @150mm 以下
  - ② 厚 12～24mm : N65、CN65 のいずれか @150mm 以下
  - ③ 厚 24～30mm : N75、CN75 のいずれか @150mm 以下
- **柱と間柱、継手間柱と間柱の間隔は 500mm(芯々寸法)としてください。**
- **上部横架材と下部横架材の内法寸法は 2,315mm 以上 2,925mm 以下としてください。**
- 受材は、柱～間柱間または継手間柱～間柱間に取り付け、留め付けには鉄丸くぎ N90(JIS A 5508:2009)を用いてください。
- 受材は、N90 又は NZ90(JIS A 5508:2009)を用い、200mm 以下の間隔で受け材の幅の中央から床下地板を介して横架材に取り付けてください。なお、受材を接合するくぎと床下地板を接合するくぎは接触しない位置としてください。
- 間柱及び継手間柱の取り付けは、上部は大入れの上くぎ N75 を 2 本斜め打ち、又はほぞ差しとしてください。また、下部は床下地板に突き付けの上くぎ N75 を 2 本斜め打ちとするか、横架材に突き付け又は大入れの上、くぎ N75 を 2 本斜め打ちとしてください。



# ニチハ耐力面材『あんしん』

大壁床勝ち仕様  
壁倍率2.8  
(メーター幅限定)

認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0496	N50 NZ50	外周100以下 中通200以下	15±3	105×105 以上	27×60 以上	45×60 以上	2.8

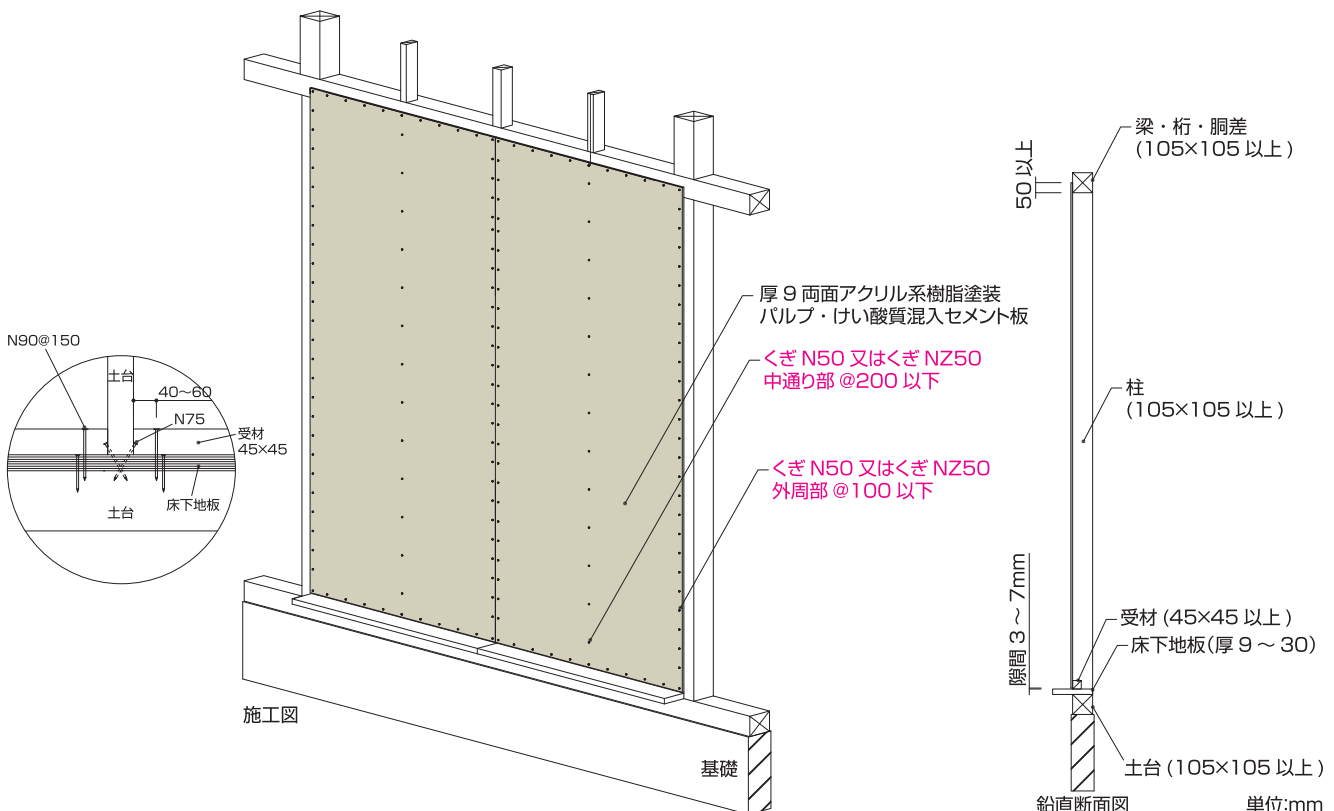
## 『あんしん』の留め付け

- 『あんしん』の表面(くぎ打ち位置印刷面)を屋外に向けて使用します。留め付けにはくぎ **N50 又は NZ50** を用い、**外周部@100mm 以下、中通り部@200mm 以下**の間隔で柱、梁、間柱及び受材等に留め付けてください。
- くぎの縁端距離(端部からのくぎ留め位置)は 15mm(±3mm)としてください。
- 面材のかかり代は、柱、梁、胴差及び桁に 50mm 以上、受材に 38mm 以上、継手間柱に 20mm 以上としてください。
- 『あんしん』端部と床下地板との間に 3～7mm の隙間を設けてください。
- くぎ打ちは、面材に表示されたくぎ打ちラインに従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等により表示した後にくぎ打ちしてください。
- N50 は、「商品名：FC50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ、「商品名：FCP50V8(N50)」JIS 適合品 N50 くぎ(マックス楸)をお勧めします。

「FC50V8(N50)」の適合くぎ打機(マックス楸)

HN-50N4 (D)	CN-565CG
HN-65N4 (D)	CN-665S2

- 必ず下地材がある部分にくぎ打ちしてください。下地材がない部分にくぎが『あんしん』を貫通するおそれがあります。
- くぎの打ち込み不足、打ち込み過ぎに注意してください。くぎ打機を使用する場合、軸組材によりくぎ頭の打ち込み深さが変わりますので、事前にくぎ打機を調整してください。(くぎを打ち込み過ぎると『あんしん』の性能が損なわれます。)



- 『あんしん』の加工及び防水紙・外壁材の施工については、P18 をご確認ください。

新築

屋外用

『あんしん』

商品特長

商品案内

設計施工資料

共通

大壁仕様  
壁倍率 2.5

大壁仕様  
壁倍率 2.9

大壁仕様  
壁倍率 4.4

大壁仕様  
壁倍率 5.0

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 3.2 (3尺幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.8 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.5 (メーター幅限定)

大壁床勝ち仕様  
壁倍率 2.8 (メーター幅限定)

# ニチハ耐震改修面材 『あんしん』かべ強化

## 『あんしん』かべ強化 各種評価および認定

### 技術評価

認定機関	評価番号
一般財団法人日本建築防災協会 住宅等防災技術評価	DPA-住技-46-2(更新)
愛知県耐震補強助成対象工法	W-015c

### 国土交通大臣認定

### 防火材料認定

認定	仕様	認定番号
準不燃材料	両面アクリル系樹脂塗装／ パルプ・けい酸質混入セメント板	QM-0457

### 物性一覧表

項目	かべ強化	備考
比重(絶乾)	0.92	平均値
含水率(%)	15以下	自社測定法
耐透水性(mm)	減水高さ10以下	JIS A 5422に準じる
曲げ破壊荷重(N)	600以上	JIS A 5422に準じる
熱伝導率(W/(m·K))	0.17	JIS A 1412
熱抵抗値(m <sup>2</sup> ·K/W)	0.05	—

「かべ強化」は、弊社が開催する設計施工技術者研修会を受講した方による設計施工が必要になり、材料のみの一般販売はしていません。

かべ強化は、壁基準耐力7.9 kN / mの高倍率での耐震補強を実現します。

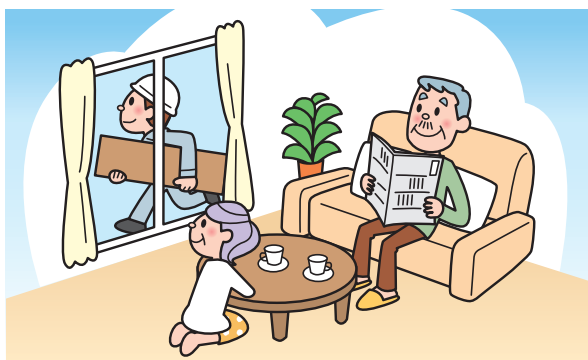


1

## 総合性能

**かべ強化**は、住みながら無理なく耐震補強が可能です。

**1 住みながら工事が完了!**  
だから住まわれる方にもやさしい。



外から工事を行う「かべ強化」なら、今の家に住みながら改修が可能です。家具などの移動も必要なく、住まわれる方の負担を軽減します。

**2 壁基準耐力7.9kN/m!**  
高倍率の耐震補強を実現。



「かべ強化」の四辺へ塗装高耐食 GL めっき鋼板を貼付け、くぎ打ち施工を行う高倍率仕様。壁基準耐力は通常の約1.2倍となります。

**3 耐震改修と同時に外壁リフォームで  
新築のように美しく!**

耐震改修と外壁リフォームを同時に行うことで、工期短縮やコスト削減につながります。窯業系外壁材トップメーカーのニチハなら、豊富な商品バリエーションで憧れの外観を実現します。



Before



After

**4 安心・安全・快適性を  
向上する耐震改修。**



既存外壁を剥がして工事を行うため、躯体内部の劣化状態を確認できます。耐震改修と躯体の補修が同時に行えます。また、断熱工事を合せて行えばさらに快適性が向上します。

**5 研修受講者様による  
安心施工を実現。**

本商品に関する設計・施工の講習を受けた方が管理する工事のため、安心してお任せいただけます。

「かべ強化」は、弊社が開催する設計施工技術者研修会を受講した方による設計施工が必要になり、材料のみの一般販売はしていません。

## 2

# 防耐火性

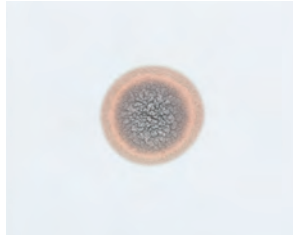
**かべ強化**は、準不燃材料認定を取得。万が一の火災時にも『あんしん』です。

国土交通大臣認定準不燃材料 QM-0457 (両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板)

### 燃焼試験



試験風景



**かべ強化**



構造用合板

国土交通大臣認定準不燃材料を取得した「かべ強化」なら、万が一の火災時にも屋内へ火炎が達する時間を延ばすことができます。

## 3

# 耐震性

**かべ強化**は、あらゆる荷重方向に強く地震や台風から建物を守ります。



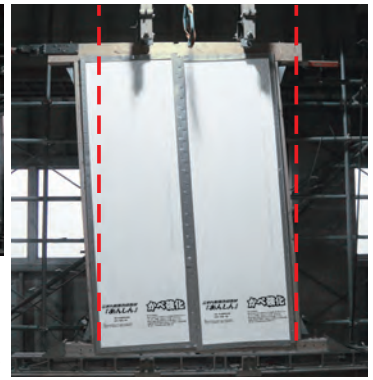
力がかかると



筋かい



力がかかると

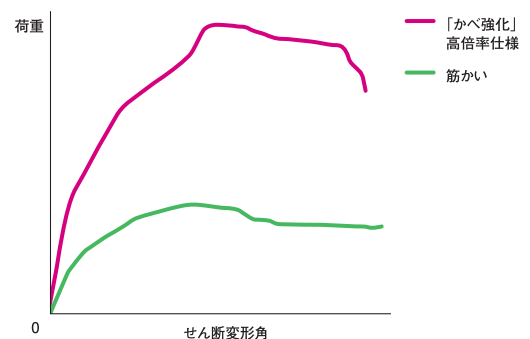


**かべ強化** (高倍率仕様)

建物には様々な荷重や外力がかかります。そこで、地震や台風時の水平荷重に対して抵抗するのは「耐力壁」です。従来、耐力壁には筋かいが用いられてきましたが、接合部に力が集中することや引っ張り側の力に対して抵抗力が低下する欠点があります。

一方「かべ強化」はどちらからの力が加わっても荷重を分散させるので安心です。

面内せん断試験 — 筋かいと「かべ強化」の比較 —



### ■ 壁基準耐力、要素基準耐力、要素基準剛性

柱サイズ	施工仕様		壁基準耐力 [kN/m] 要素壁基準耐力 [kN/m]	要素壁基準剛性 [kN/rad/m]
90mm角以上	【通常】	①一般壁部	5.9	1520
		②隅壁部	5.6	1190
	【高倍率】	③一般壁部	7.9	1600
		④隅壁部	6.8	1390
105mm角以上	【通常】	⑤開口壁部	a.軒勝ち壁部	3.8
			b.屋根勝ち壁部	



4

## 耐久性

**かべ強化**は、建物を長持ちさせる耐久性が魅力です。

### 耐凍結融解試験

■試験方法：耐力面材の小口より吸水をさせ凍結と融解を10回繰り返す。



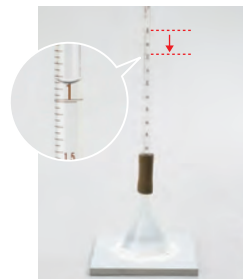
かべ強化



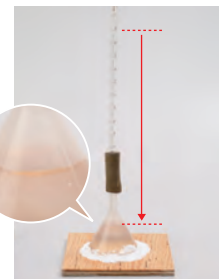
構造用合板

### 耐透水性能(表面) (下の写真は試験2時間後の状態です)

■試験方法：耐力面材の表面からの透水量を比較。



かべ強化



構造用合板

「かべ強化」は凍結と融解を10回繰り返しても基材に異常がありませんでした。透湿性能が構造用合板より優れており、室内で発生した湿気を外壁側へ流出させることで、躯体の劣化や壁体内結露を防ぎます。また、施工時の雨濡れや水分による商品劣化を抑えるため、表面に特殊防水処理を行っています。透湿性能と耐透水性能(表面)のバランスで、商品の劣化防止を両立しています。

5

## 透湿性

**かべ強化**は、優れた透湿性で壁内結露の発生を防ぎます。

### 透湿性試験(ウォーターバス)



かべ強化



構造用合板

■試験方法：水温90℃以上にしたウォーターバスの上に試片を置き、さらにその上にガラス容器をのせて、10分間の結露状態を比較。

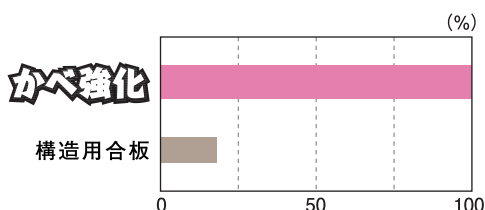
壁の内部に発生する結露は、土台や柱、壁などを腐らせかねない建物の大敵です。壁の内部の湿気をスムーズに放出できる「かべ強化」なら、結露の発生を最小限に抑え、建物の腐食を防ぐことができます。

6

## 耐蟻性

**かべ強化**は、優れた耐蟻性でシロアリの侵入を防ぎます。

### シロアリの死亡率



木材やプラスチックだけでなく、コンクリートや金属まで広がるシロアリ被害。「かべ強化」なら侵入を未然にシャットアウトし、シロアリが発生しにくい環境をつくります。実験の結果、重量減少や食害もほとんどありません。

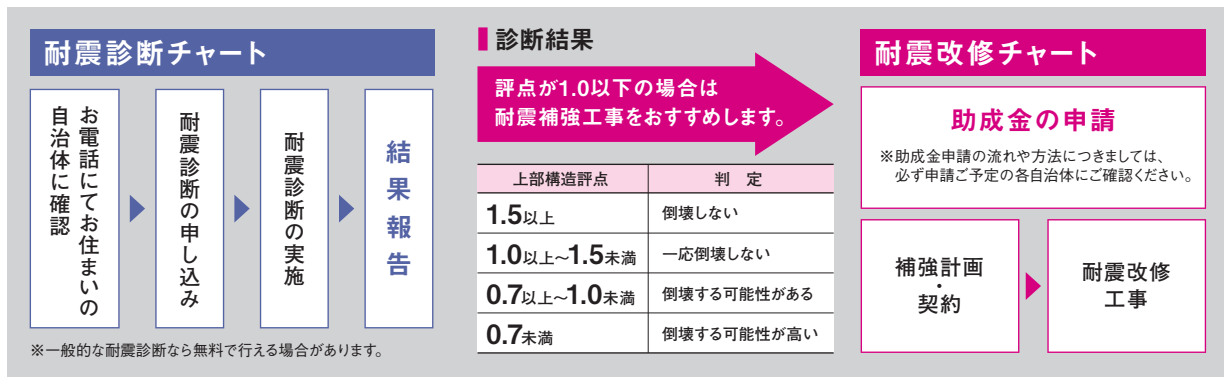
※JIS K-1571 (2004)「木材保存剤の性能試験」に準じて、3週間後の供試体の重量減少率、兵アリの死亡率、目視による評価を実施

各自治体では耐震改修工事における補助金制度を設けています。

※各制度には申請期限がある場合や、年度・期間ごとに補助金の金額や条件が変更になる場合がございます。詳しくは各自治体や機構などへ必ずお問い合わせください。

## 耐震診断・改修の流れ

※昭和56年5月31日以前の2階建て以下の在来軸組構法の木造個人住宅に限る。



## 各自治体の補助金制度の一例（各自治体の支援事業を利用した場合）

仙台市	横浜市	高知市
<p><b>耐震診断</b> 【費用】14,850円～17,600円(税込)</p> <p><b>耐震設計</b> 耐震診断に含む</p> <p><b>耐震改修</b> 補助金限度額は一戸あたり最大<b>100万円</b>まで（対象工事費用の4/5以内）</p> <p>※仙台市の耐震診断において改修工事の必要があると診断された場合</p>	<p><b>耐震診断</b> 【費用】無料（賃貸住宅等は1万円） ※賃貸住宅等への耐震改修補助制度はありません。</p> <p><b>耐震設計</b> 耐震改修に含む</p> <p><b>耐震改修</b> 補助金限度額は一般世帯 <b>100万円</b>まで 非課税世帯 <b>140万円</b>まで</p> <p>※横浜市が行った一般診断法による耐震診断において改修工事の必要があると診断された場合</p>	<p><b>耐震診断</b> 【費用】無料</p> <p><b>耐震設計</b> 補助金限度額は一棟あたり<b>20万5千円</b>まで</p> <p><b>耐震改修</b> 補助金限度額は一棟あたり最大<b>100万円</b>まで（補助対象経費の8割）</p> <p>※高知市の耐震診断において改修工事の必要があると診断された場合</p>

## 減税制度

住宅リフォームを行うと所得税の控除・固定資産税の減額など、税の優遇措置を受けることができます。

**耐震改修工事費の10%が所得税から控除されます。** ※その年1回のみ ※限度額あり

所得税額の控除が受けられるのは、下記の条件を満たすリフォームを行った場合のみ<sup>※1</sup>となります。

**対象となる工事は**

- ・現行の耐震基準に適合させるための工事。
- ・昭和56年5月31日以前に建築された建物であること

**翌年度分の固定資産税が1/2になります!**

条件を満たすリフォームを行った場合のみ<sup>※1</sup>、当該家屋に関わる固定資産税額の1/2が工事完了の翌年度分に限り軽減されます（一戸あたり家屋面積120㎡相当分まで）。

**対象となる工事は**

- ・現行の耐震基準に適合させるための耐震改修。
- ・昭和57年1月1日以前に建築された建物であること
- ・耐震改修費用が50万円超(税込)であること

※1 耐震、バリアフリー、省エネなど、それぞれの税制により居住者、工事費などの要件が異なります。

## 高齢者特例のリフォーム融資制度（耐震改修工事）

耐震リフォームには、満60歳以上の方を対象としたリフォーム融資制度（高齢者向け返済特例制度）があります。

### 月々のご返済は利息のみ

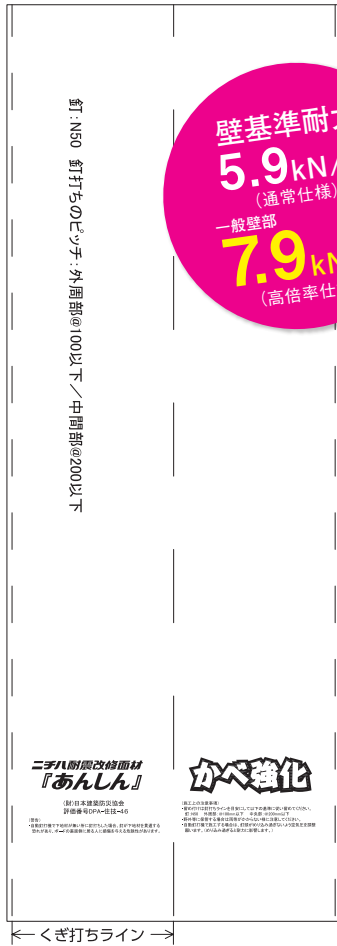
例) 融資額1000万円を借り入れた場合の毎月のご返済額(試算)の目安  
※返済額は(独)住宅金融支援機構の令和4年5月時点の金利で試算しています。

- 一般的な返済方法(10年元利均など返済)…… 87,995円(元金+利息)
- 高齢者向け返済特例制度「保証ありコース」…… 8,666円(利息のみ)

元金は申し込みご本人(連帯債務者を含む全てのお借入者)がお亡くなりになられた時に一括返済となります。相続される方が一括で返済されるか、あらかじめ担保提供された建物、土地の処分によりご返済いただくこととなります。

詳しくは(独)住宅金融支援機構へお問い合わせください。(お客様コールセンター TEL 0120-0860-35)

リフォーム 屋外用 耐震改修面材



住みながら耐震補強が可能!!  
ニチハ耐震改修面材『あんしん』かべ強化で今こそ耐震リフォームを!!



高倍率仕様施工の様子

国土交通大臣認定準不燃材料：QM-0457  
両面アクリル系樹脂塗装／バルブ・けい酸質混入セメント板

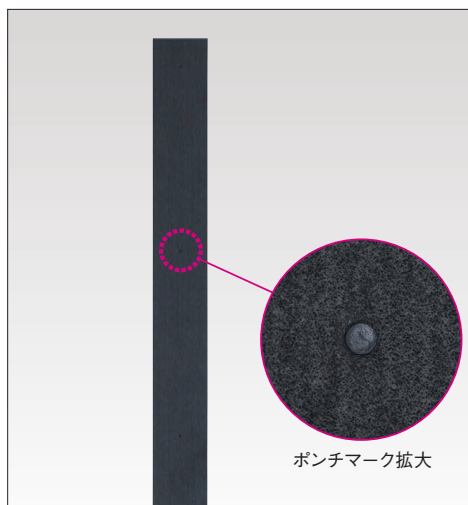


品番	DL9R1	DM9R1
寸法	9×910×3,030mm	9×1,000×3,030mm
重量	約23.0kg/枚	約25.0kg/枚
標準価格 (税抜)	5,800円/枚 (2,104円/㎡)	6,600円/枚 (2,178円/㎡)
塗装	両面アクリル系樹脂塗装	
梱包	40枚パレット積み	

※壁基準耐力とは木造住宅の耐震診断に用いる壁の強さを表す指標。  
建物全体の強さは壁の長さ×壁基準耐力の積で表されます。

注)ニチハ耐力面材『あんしん』は、塗装下地、タイル下地、および仕上げ材としてはご使用できません。

■高倍率仕様 補強用鋼板



ポンチマーク拡大

FA6000

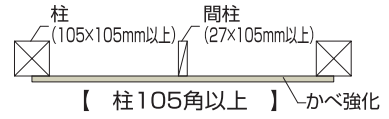
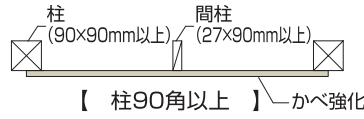
品番	FA6000
寸法	0.35×30×830mm
標準価格 (税抜)	4,100円/梱
材質	塗装高耐食GLめっき鋼板(ブラック色)
梱包	10本/梱
備考	100mm間隔にポンチマーク「かべ強化」に仮留めした後、鉄丸くぎN50で打ち付けます

本カタログに表示された標準価格はメーカー希望小売価格で、工事費などは含まれておりません。  
表示価格は税抜価格です。税込価格は、消費税率に合わせて計算をお願いいたします。

# 二手八耐震改修面材『あんしん』かべ強化

## 構造図

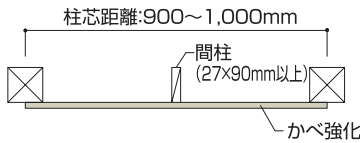
### I. 柱サイズによる分類



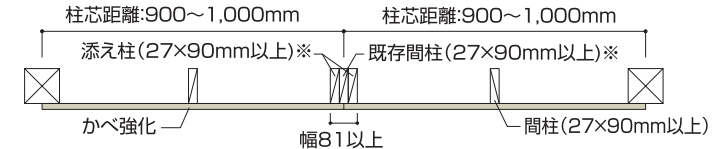
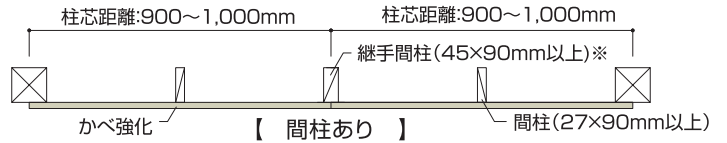
### II. 下地構成による分類

#### 【 間柱あり 】

##### イ) 基本単位 (1P)



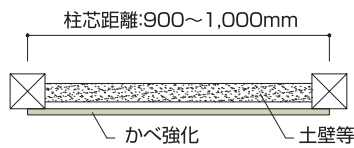
##### ロ) 連続する壁の場合



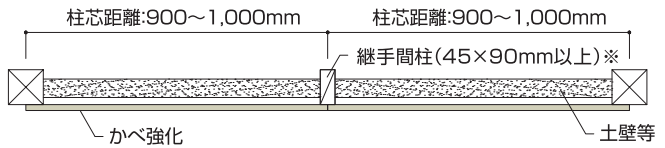
※開口壁部仕様はサイズが異なります。

#### 【 間柱なし 】

##### イ) 基本単位 (1P)



##### ロ) 連続する壁の場合

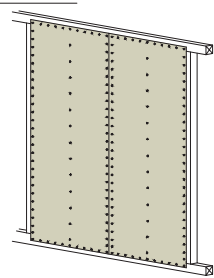


●間くずれによって柱芯距離が900mm以下となる場合の有効幅(最小幅)は600mmとする。

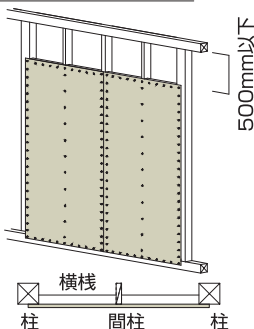
※開口壁部仕様はサイズが異なります。

### III. 部位別による分類

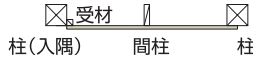
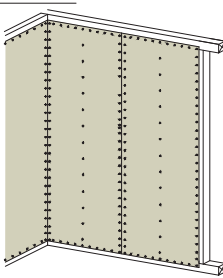
#### 一般壁部



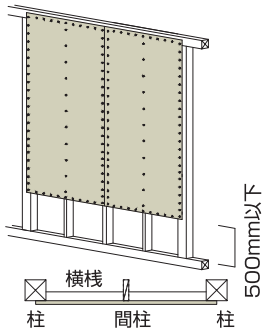
#### 開口壁部(軒勝ち壁部)



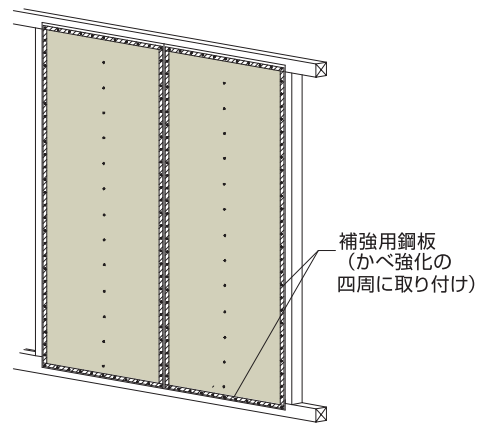
#### 隅壁部



#### 開口壁部(屋根勝ち壁部)



### IV. 施工仕様による分類



#### 【 高倍率仕様 】

#### ■ 壁基準耐力、要素基準耐力、要素基準剛性

柱サイズ	施工仕様	壁基準耐力 [kN/m] 要素基準耐力 [kN/m]	要素基準剛性 [kN/rad/m]
90mm角以上	【 通常 】		
	①一般壁部	5.9	1520
	②隅壁部	5.6	1190
	【 高倍率 】		
90mm角以上	③一般壁部	7.9	1600
	④隅壁部	6.8	1390
105mm角以上	【 通常 】		
	⑤開口壁部 a. 軒勝ち壁部 b. 屋根勝ち壁部	3.8	840

[かべ強化]が横架材に張られていないため、柱の仕口にはせん断力が作用します。そのため、2Pの場合は両端の柱上部(下部)の仕口を4.5kN以上の金物で別途補強してください。

[かべ強化]は、弊社が開催する設計施工技術者研修会を受講した方による設計施工が必要になり、材料のみの一般販売はしていません。



## 最新の商品情報は、ニチハのホームページからご覧いただけます。

住宅向け・非住宅向けの商品情報や施工例、認定図書や設計施工資料などのデータダウンロードなど、さまざまな情報をご覧いただけます。

ニチハホームページ ▶

<https://www.nichiha.co.jp>



スマホ、タブレットからもご覧いただけます。

### ■ 建築専門家向け



### ■ TOP



住宅向け商品はコチラ

非住宅向け商品はコチラ

### ■ ビル・マンション・商業施設をご検討の方



会社情報

住宅向け商品

非住宅向け商品

施工例

商品検索

商品情報

# ショールームのご案内

住宅外装に関する商品を豊富に展示しているニチハのショールーム。  
 実際に見たり、手でふれたりしながら、デザインや色調、質感などをご確認いただけます。  
 また、具体的なコーディネート例も展示しておりますので、住まいのイメージづくりにお役立てください。

**開館時間 ●AM10:00 ~ PM5:00**

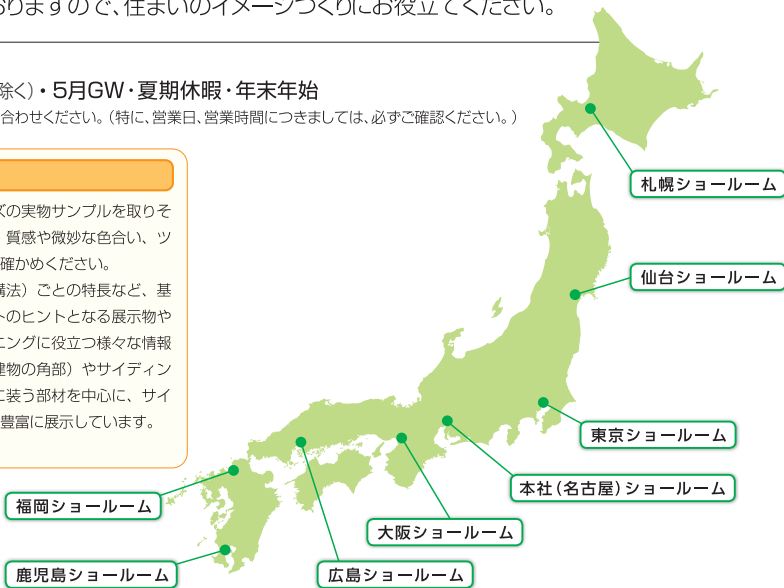
**休館日 ●毎週水曜日(広島ショールームを除く)・5月GW・夏期休暇・年末年始**

詳細につきましては、最寄りの各ショールームまでお問い合わせください。(特に、営業日、営業時間につきましては、必ずご確認ください。)

## 外壁材コーナー



新商品を中心に、外壁材全シリーズの実物サンプルを取りそろえ、カタログではわかりづらい、質感や微妙な色合い、ツヤなどを見て、触れて、比べて、お確かめください。  
 外壁の構造や機能・性能、工法(構法)ごとの特長など、基礎知識を始め、外壁コーディネートヒントとなる展示物や展示パネルも充実。外壁のプランニングに役立つ様々な情報が手に入ります。また、出入隅(建物の角部)やサイディングのつぎ目などを美しく、機能的に装う部材を中心に、サイディングに関するアクセサリー類も豊富に展示しています。



## 札幌ショールーム

札幌市東区北42条東15丁目1番1号(栄町ビル1F)



駐車場は当ビル裏(北側)の専用駐車場をご利用ください

●お問い合わせ先:  
 TEL.011-753-7775  
 FAX.011-753-6660

## 仙台ショールーム

仙台市太白区越路28番8号



駐車場は敷地内の専用駐車場をご利用ください

●お問い合わせ先:  
 TEL.022-395-6778  
 FAX.022-265-8588

## 東京ショールーム

東京都中央区日本橋一丁目15番1号(パーカービル1F)



【東京メトロ】銀座線・東西線(都営)浅草線  
 日本橋駅 D2出口よりすぐ  
 ●お問い合わせ先:  
 TEL.03-3548-0191  
 FAX.03-3548-0202

## 本社(名古屋)ショールーム

名古屋市中区錦二丁目18番19号(三井住友銀行名古屋ビル1F)



当ビルの北側に地下駐車場の入口がございます

●お問い合わせ先:  
 TEL.052-220-5113  
 FAX.052-220-5160

## 大阪ショールーム

大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル1F)



駐車場は新南堀江パーキングをご利用ください

●お問い合わせ先:  
 TEL.06-6532-2265  
 FAX.06-6532-2275

## 広島ショールーム

広島市南区京橋町1番23号(大樹生命広島駅前ビル1F)



駐車場は並び3軒隣にエールパークあり

●お問い合わせ先:  
 TEL.082-568-7608  
 FAX.082-568-7609

## 福岡ショールーム

福岡市博多区博多駅前四丁目2番1号(NEWNO・ザイマックス博多駅前1F)



八百治駅 4 駐車場をご利用ください

●お問い合わせ先:  
 TEL.092-436-8099  
 FAX.092-436-8087

## 鹿児島ショールーム

鹿児島市与次郎二丁目4番35号(KSC鴨池ビル1F)



●お問い合わせ先:  
 TEL.099-813-4118  
 FAX.099-813-4128

## お客さま相談室のご案内

商品のお問い合わせ、ご相談は、最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にお問い合わせください。

【お客さま相談室】 受付時間 月～金 AM9:00～PM5:00 (土・日曜日・祝日・5月GW・夏期休暇・年末年始を除く) TEL 052-220-5125 FAX 052-220-5157

●カタログ、サンプルのご依頼は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

ニチハホームページ <https://www.nichiha.co.jp>



## 営業所一覧

<b>■北日本営業部</b>	〒982-0842	<b>仙台市太白区越路28番8号</b>	TEL(022)395-6776	FAX(022)722-8688
札幌営業所	〒007-0842	札幌市東区北42条東15丁目1番1号(栄町ビル5階)	TEL(011)753-7171	FAX(011)753-7333
青森営業所	〒030-0802	青森市本町一丁目2番20号(青森柳町ビル)	TEL(017)722-0080	FAX(017)722-0700
盛岡営業所	〒020-0021	盛岡市中央通一丁目11番17号(第二大通ビル)	TEL(019)654-5981	FAX(019)622-2369
秋田オフィス	〒010-0951	秋田市山王六丁目9番25号(山王SEビル)	TEL(018)864-6330	FAX(018)864-6323
仙台営業所	〒982-0842	仙台市太白区越路28番8号	TEL(022)395-6776	FAX(022)722-8688
郡山営業所	〒963-8017	郡山市長者三丁目4番1号(武田ビル2階)	TEL(024)938-2611	FAX(024)938-2360
<b>■北関東営業部</b>	〒370-0841	<b>高崎市栄町4番11号(原地所第2ビル8階)</b>	TEL(027)327-6669	FAX(027)327-6607
新潟営業所	〒950-0916	新潟市中央区米山三丁目1番63号(マルヤマビル)	TEL(025)245-6528	FAX(025)243-5649
高崎営業所	〒370-0841	高崎市栄町4番11号(原地所第2ビル8階)	TEL(027)327-6669	FAX(027)327-6607
宇都宮営業所	〒321-0953	宇都宮市東宿郷三丁目1番12号(吉田エレクトロニクスオフィスビル)	TEL(028)633-5222	FAX(028)633-1785
水戸営業所	〒310-0805	水戸市中央二丁目6番29号(富士火災水戸ビル)	TEL(029)231-3145	FAX(029)231-0180
長野営業所	〒380-0823	長野市南千歳二丁目12番地1(長野セントラルビル10階)	TEL(026)225-6171	FAX(026)225-6174
<b>■首都圏営業部</b>	〒103-0023	<b>東京都中央区日本橋本町一丁目6番5号(ツカモトビル)</b>	TEL(03)5205-3913	FAX(03)5205-3922
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町三丁目306番地1(第二坂本ビル)	TEL(048)652-2601	FAX(048)665-4388
※東京営業所	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町一丁目6番5号(ツカモトビル)	TEL(03)5205-3913	FAX(03)5205-3922
※東京特販課	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町一丁目6番5号(ツカモトビル)	TEL(03)5205-3915	FAX(03)5205-3919
特販第二部営業第一課	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町一丁目6番5号(ツカモトビル)	TEL(03)5205-3914	FAX(03)5205-3918
特販第二部営業第三課(東京)	〒103-0023	東京都中央区日本橋本町一丁目6番5号(ツカモトビル)	TEL(03)5205-3916	FAX(03)5205-3918
西東京営業所	〒190-0023	東京都立川市柴崎町三丁目5番15号(OSビル6階)	TEL(042)525-7711	FAX(042)522-9077
千葉営業所	〒260-0021	千葉市中央区新宿二丁目5番19号(秋葉学園別館)	TEL(043)301-8533	FAX(043)301-8566
神奈川営業所	〒222-0033	横浜市港北区新横浜三丁目17番地2(友泉新横浜ビル)	TEL(045)475-1470	FAX(045)475-1475
相模原オフィス	〒252-0231	相模原市中央区相模原四丁目3番14号(相模原第一生命ビルディング3階)	TEL(042)730-5558	FAX(042)730-5559
<b>■中部営業部</b>	〒457-0823	<b>名古屋市南区元塩町五丁目15番地の1</b>	TEL(052)619-0591	FAX(052)619-0597
※名古屋営業所	〒457-0823	名古屋市南区元塩町五丁目15番地の1	TEL(052)619-0590	FAX(052)619-0597
※名古屋特販課	〒457-0823	名古屋市南区元塩町五丁目15番地の1	TEL(052)619-0595	FAX(052)619-0700
特販第二部営業第二課(名古屋)	〒457-0823	名古屋市南区元塩町五丁目15番地の1	TEL(052)619-0591	FAX(052)619-6512
静岡営業所	〒422-8061	静岡市駿河区森下町1番35号(静岡MYタワー)	TEL(054)283-3505	FAX(054)283-1990
金沢営業所	〒920-8201	金沢市鞍月東一丁目65番地(フォレスト26)	TEL(076)239-3136	FAX(076)239-3257
岐阜営業所	〒500-8847	岐阜市金宝町一丁目15番地(ダイイチ岐阜金宝町ビル)	TEL(058)264-1797	FAX(058)264-2952
<b>■関西営業部</b>	〒550-0015	<b>大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル)</b>	TEL(06)6532-2391	FAX(06)6532-4827
※大阪営業所	〒550-0015	大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル)	TEL(06)6532-2391	FAX(06)6532-4827
※大阪特販課	〒550-0015	大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル)	TEL(06)6532-3177	FAX(06)6532-6670
特販第二部営業第二課	〒550-0015	大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル)	TEL(06)6532-3477	FAX(06)6532-4827
特販第三部営業第二課	〒550-0015	大阪市西区南堀江一丁目4番19号(なんばスミソウビル)	TEL(06)6532-3008	FAX(06)6532-4827
京都営業所	〒612-8419	京都市伏見区竹田北三ツ杭町11番地	TEL(075)634-3535	FAX(075)646-1880
姫路営業所	〒670-0964	姫路市豊沢町135番地(姫路大同生命ビル9F)	TEL(079)288-2891	FAX(079)288-2892
岡山営業所	〒700-0903	岡山市北区幸町8番29号(大樹生命岡山ビル)	TEL(086)232-1751	FAX(086)232-1757
広島営業所	〒732-0828	広島市南区京橋町1番23号(大樹生命広島駅前ビル)	TEL(082)568-7128	FAX(082)568-7129
松山営業所	〒790-0003	松山市三番町七丁目13番地13(ミツネビル)	TEL(089)935-8411	FAX(089)935-8501
高松オフィス	〒761-8075	高松市多肥下町1507番地14	TEL(087)813-7733	FAX(087)868-3066
<b>■九州営業部</b>	〒812-0011	<b>福岡市博多区博多駅前四丁目2番1号(NEWNO・ザイマックス博多駅前)</b>	TEL(092)472-1121	FAX(092)472-1126
福岡営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前四丁目2番1号(NEWNO・ザイマックス博多駅前)	TEL(092)472-1121	FAX(092)472-1126
長崎オフィス	〒850-0028	長崎市勝山町37番地(長崎勝山37ビル)	TEL(095)820-3411	FAX(095)820-3622
北九州営業所	〒802-0081	北九州市小倉北区紺屋町9-1(明治安田生命小倉ビル)	TEL(093)521-1561	FAX(093)513-2811
熊本営業所	〒862-0976	熊本市中央区九品寺二丁目1番24号(ベストアメニティ熊本九品寺ビル)	TEL(096)371-2911	FAX(096)371-3210
鹿児島営業所	〒890-0062	鹿児島市与次郎二丁目4番35号(KSC鴨池ビル)	TEL(099)813-4117	FAX(099)813-4128
宮崎オフィス	〒880-0806	宮崎市広島二丁目5番16号(興亜宮崎ビル)	TEL(0985)35-7773	FAX(0985)28-2866
※■本社	〒460-8610	<b>名古屋市中区錦二丁目18番19号(三井住友銀行名古屋ビル)</b>	TEL(052)220-5114	FAX(052)220-3412

※ISO9001:2015(窯業系建材の製造)認証部署

特別販売店

新築 屋外用

ニチハ耐力面材『あんしん』

リフォーム 屋外用

ニチハ耐震改修面材『あんしん』が強化



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

<https://www.nichiha.co.jp>

2023年9月発行

